

# 中高生世代の意識に関するアンケート調査

## 報告書

令和6年4月

岡山市



# 目次

I 調査の概要 .....	1
1 調査目的 .....	1
2 調査方法 .....	1
3 調査項目 .....	1
4 回収結果 .....	1
5 報告書の見方 .....	1
II 調査結果 .....	2
1 属性 .....	2
2 自分のことについて .....	3
(1) 自己肯定感 .....	3
(2) 自分の親(保護者)から愛情を感じる程度 .....	4
(3) 生活の満足度 .....	5
(4) 将来への希望 .....	6
(5) 社会貢献への意向 .....	8
3 自分の居場所について .....	9
(1) 家庭での居場所 .....	9
(2) 学校での居場所 .....	10
(3) 家庭や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所 .....	11
(4) 家庭や学校以外であつたらいいと思う居場所 .....	13
4 自分の意見を言う機会について .....	15
(1) 進路など自分の将来について決めるとき .....	15
(2) 家庭での大事な物事やルールを決めるとき .....	16
(3) 学校での大事な物事やルールを決めるとき .....	17
(4) 政策について意見を言う機会への参加意向 .....	18
5 将来の希望について .....	19
(1) 岡山市での居住継続意向 .....	19
(2) 結婚への希望 .....	23
(3) 理想とすることもの人数 .....	30
6 つらかったことや悩みについて .....	34
(1) つらかったことや悩んだ経験 .....	34
(2) つらいときや悩んだときの相談先 .....	37
(3) 最も相談しやすい方法 .....	39
III 自由意見 .....	41



# I 調査の概要

## 1 調査目的

岡山市の将来を担う中高生世代が岡山市に魅力を感じ、豊かな社会生活を送ることができるようにするために、中高生世代の実態やニーズを把握し、中高生世代の支援に関する施策の充実に努めることを目的とし、実施する。

## 2 調査方法

- (1) 調査地域 岡山市全域
- (2) 抽出方法 市内に居住する、中学1年生から高校2年生の市民の中から無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送による配付・回収（インターネットによる回答を併用）
- (4) 調査対象 2,000人
- (5) 調査時期 令和6年1月23日～令和6年2月13日

## 3 調査項目

- 自分のことについて
- 自分の居場所について
- 自分の意見を言う機会について
- 将来の希望について
- つらかったことや悩みについて

## 4 回収結果

	全体	郵送	インターネット
有効回収数	884	458	426
回収率	44.2%	22.9%	21.3%

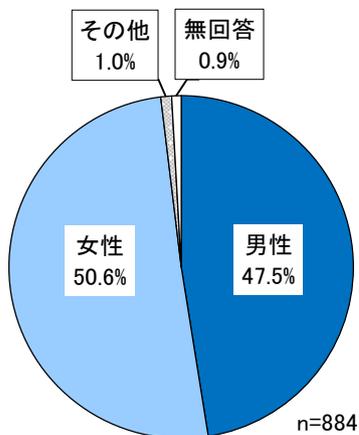
## 5 報告書の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 2つ以上の回答（複数回答）を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

## II 調査結果

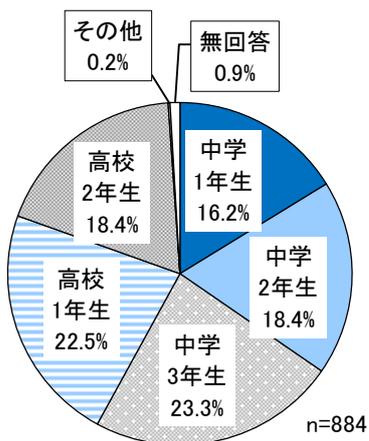
### 1 属性

#### (1) 性別



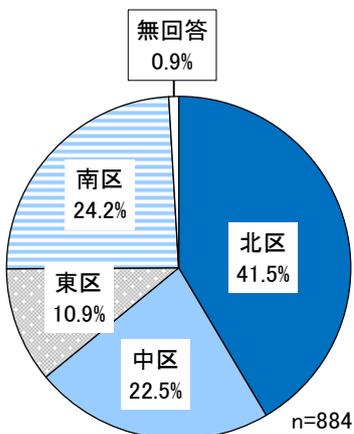
	回答数	割合
男性	420	47.5%
女性	447	50.6%
その他	9	1.0%
無回答	8	0.9%
合計	884	100.0%

#### (2) 学年



	回答数	割合
中学1年生	143	16.2%
中学2年生	163	18.4%
中学3年生	206	23.3%
高校1年生	199	22.5%
高校2年生	163	18.4%
その他	2	0.2%
無回答	8	0.9%
合計	884	100.0%

#### (3) 居住区

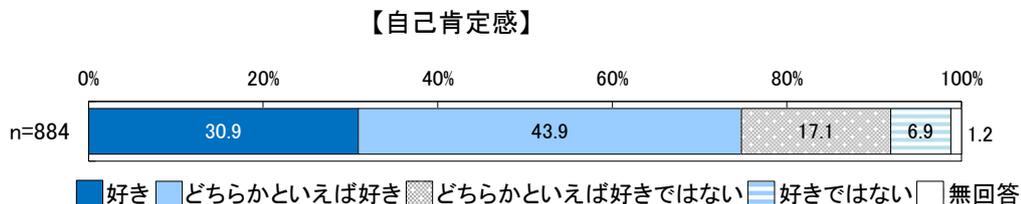


	回答数	割合
北区	367	41.5%
中区	199	22.5%
東区	96	10.9%
南区	214	24.2%
無回答	8	0.9%
合計	884	100.0%

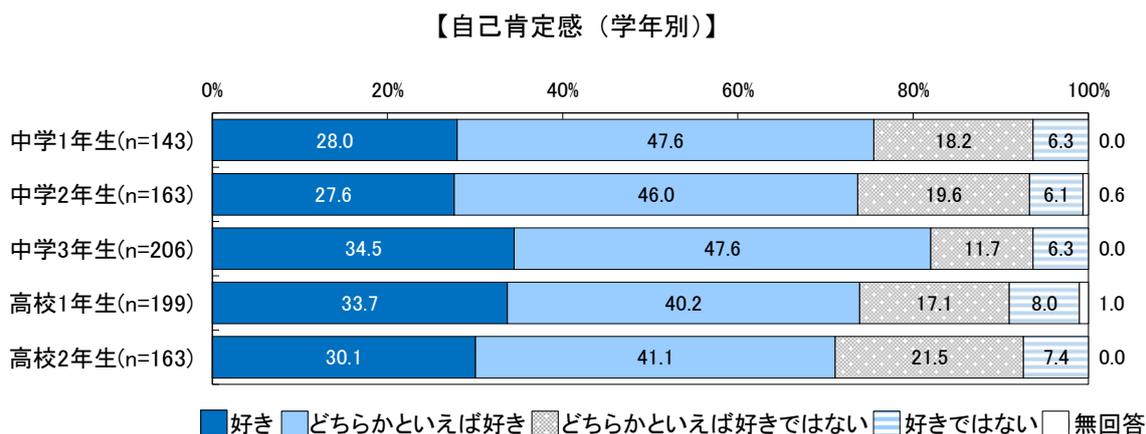
## 2 自分のことについて

### (1) 自己肯定感

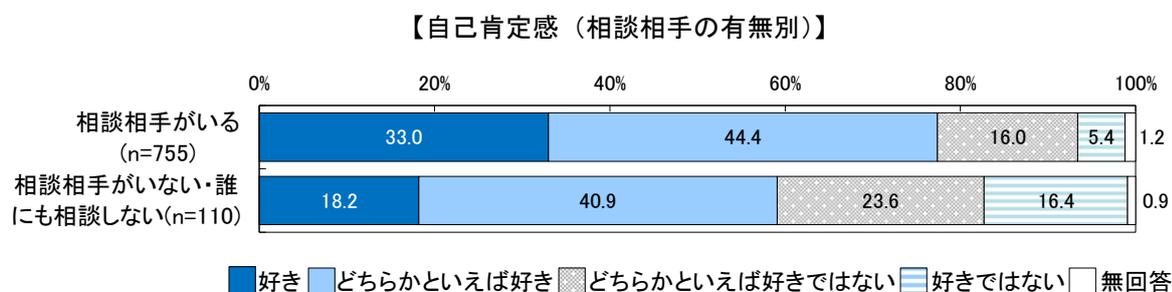
問4 あなたは今の自分のことが好きですか。(○は1つ)



自己肯定感について、自分のことが『好き』（「好き」＋「どちらかといえば好き」）と回答した割合が 74.8%、『好きではない』（「好きではない」＋「どちらかといえば好きではない」）と回答した割合が 24.0%となっている。



学年別にみると、自分のことが『好き』と回答した割合は、中学3年生で8割を超え、中学1・2年生、高校1・2年生では7割台となっている。

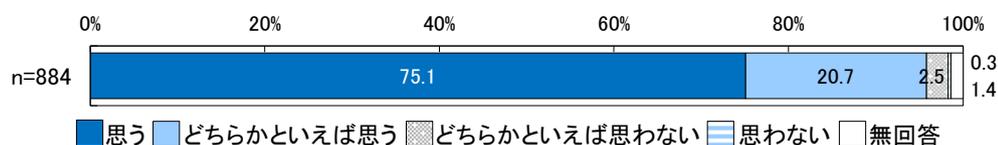


相談相手の有無別にみると、自分のことが『好き』と回答した割合は、相談相手がいる層で 77.4%であり、相談相手がない・誰にも相談しないと回答した層よりも高くなっている。

## (2) 自分の親(保護者)から愛情を感じる程度

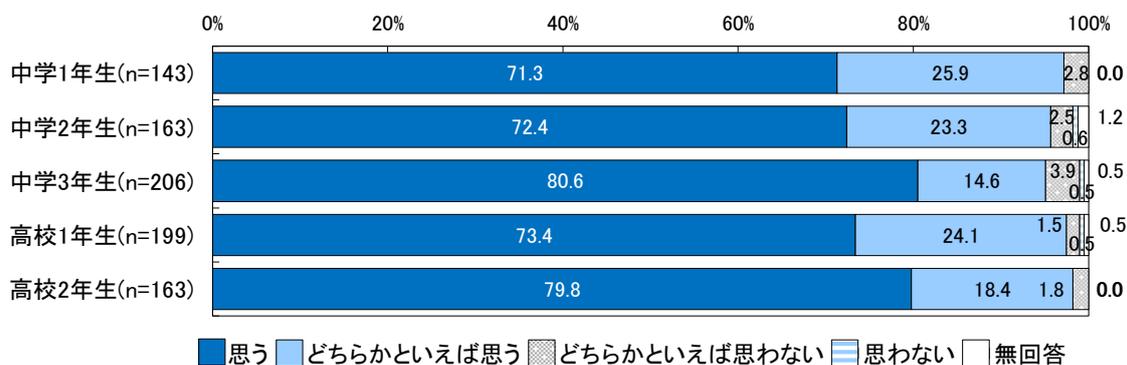
問5 あなたは自分の親（保護者）から愛されていると思いますか。（○は1つ）

【自分の親（保護者）から愛情を感じる程度】



自分の親（保護者）から愛情を感じる程度について、愛されていると『思う』（「思う」+「どちらかといえば思う」）と回答した割合が 95.8%、『思わない』（「思わない」+「どちらかといえば思わない」）と回答した割合が 2.8%となっている。

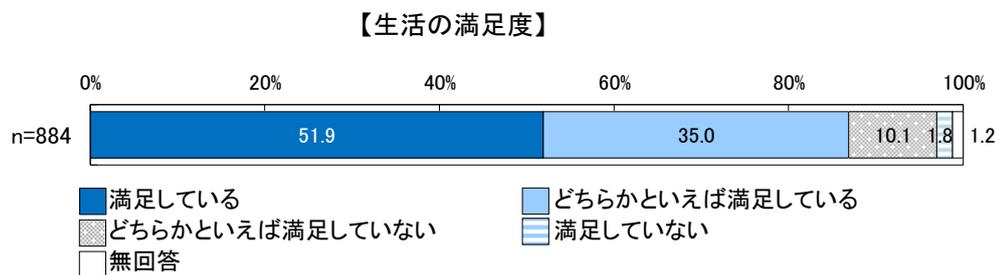
【自分の親（保護者）から愛情を感じる程度（学年別）】



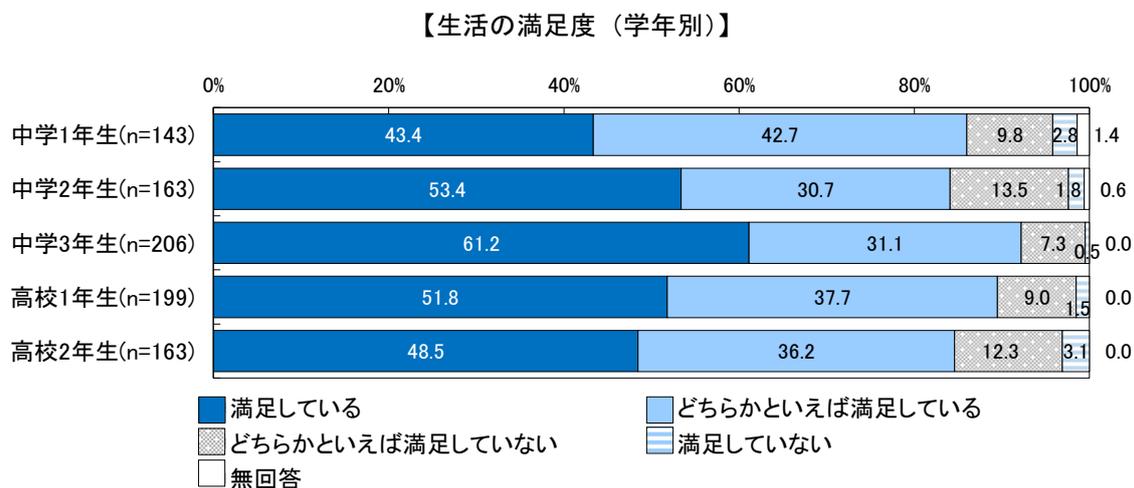
学年別にみると、愛されていると『思う』と回答した割合は、いずれの学年でも9割を超えている。

### (3) 生活の満足度

問6 あなたは、今の生活に満足していますか。(○は1つ)



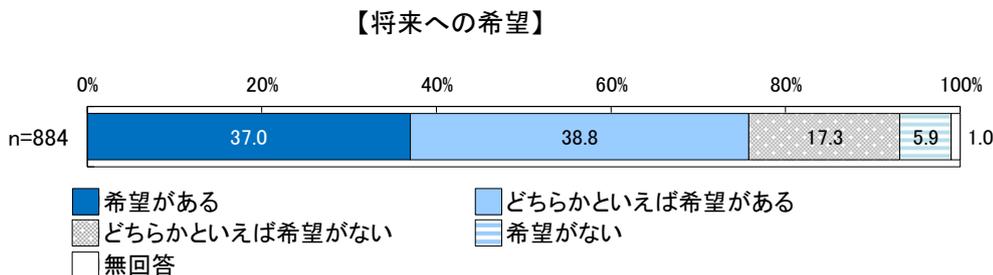
生活の満足度について、『満足している』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）と回答した割合が 86.9%、『満足していない』（「満足していない」＋「どちらかといえば満足していない」）と回答した割合が 11.9%となっている。



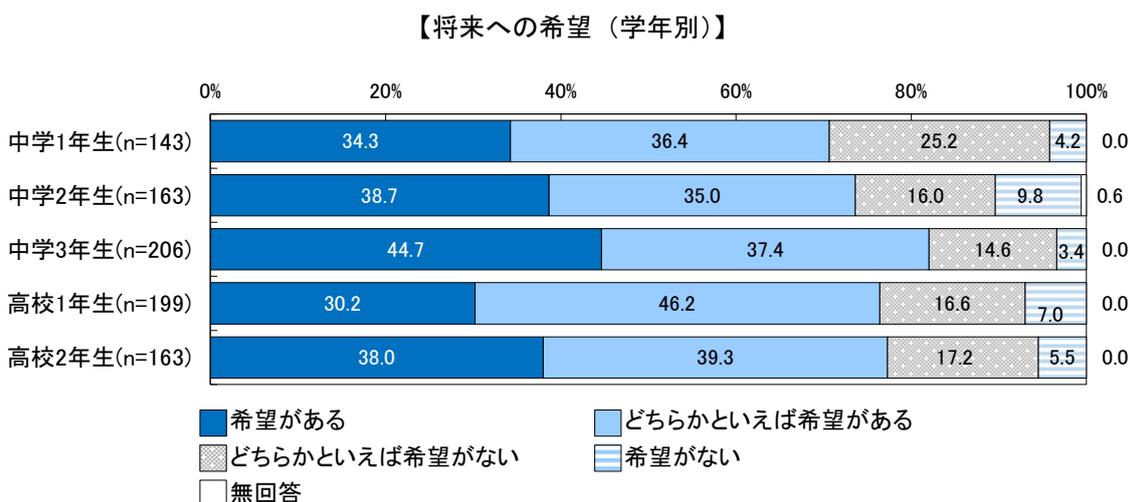
学年別にみると、『満足している』と回答した割合は、中学3年生で9割を超え、中学1・2年生、高校1・2年生では8割台となっている。

#### (4) 将来への希望

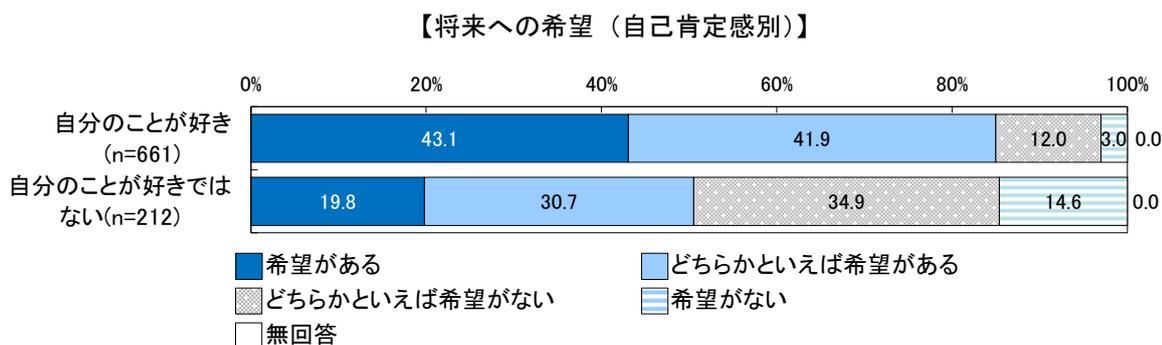
問7 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(○は1つ)



将来への希望について、『希望がある』（「希望がある」＋「どちらかといえば希望がある」）と回答した割合が 75.8%、『希望がない』（「希望がない」＋「どちらかといえば希望がない」）と回答した割合が 23.2%となっている。

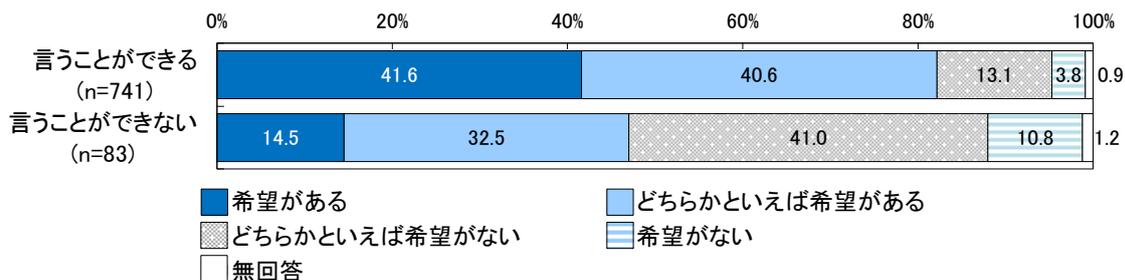


学年別にみると、『希望がある』と回答した割合は、中学3年生で8割を超え、中学1・2年生、高校1・2年生では7割台となっている。



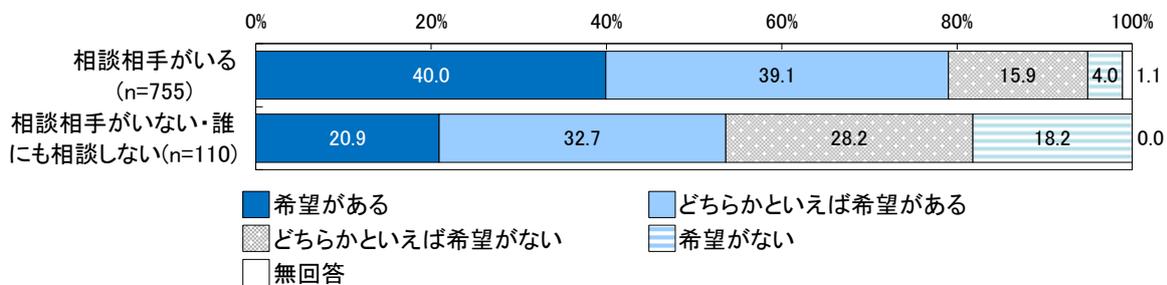
自己肯定感別にみると、『希望がある』と回答した割合は、自分のことが好きと回答した層で 85.0%であり、自分のことが好きではないと回答した層よりも高くなっている。

【将来への希望（進路など自分の将来について決める際の自分の考えや思いを言う機会の有無別）】



進路など自分の将来について決める際の自分の考えや思いを言う機会の有無別にみると、『希望がある』と回答した割合は、自分の考えや思いを言うことができると回答した層で82.2%であり、言うことができないと回答した層よりも高くなっている。

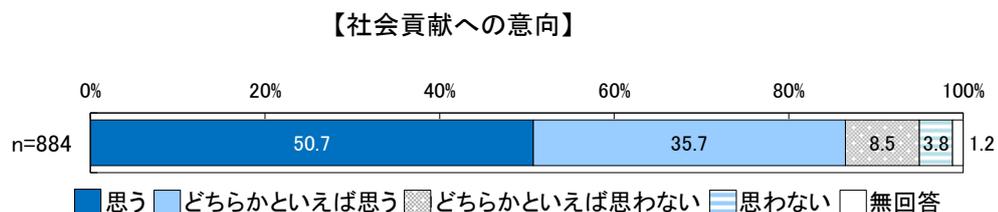
【将来への希望（相談相手の有無別）】



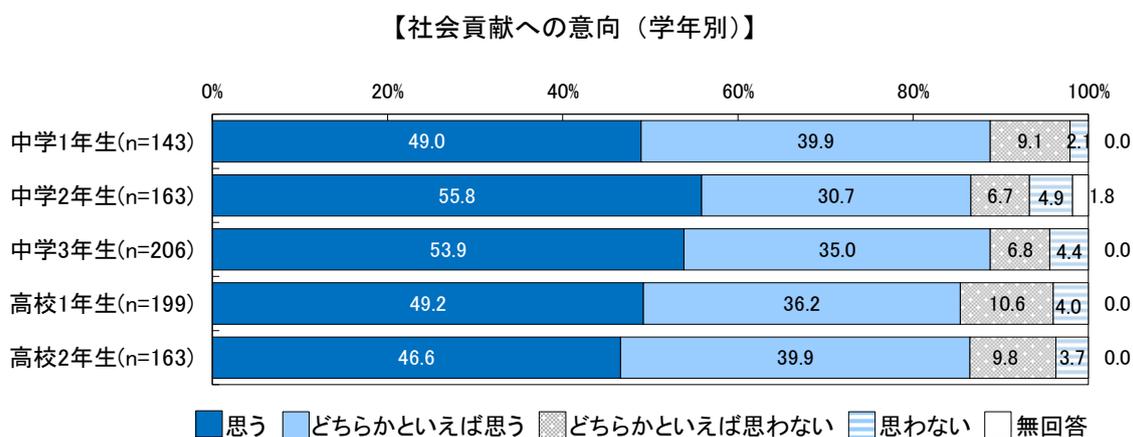
相談相手の有無別にみると、『希望がある』と回答した割合は、相談相手がいる層で79.1%であり、相談相手がない・誰にも相談しないと回答した層よりも高くなっている。

## (5) 社会貢献への意向

問8 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(○は1つ)



社会貢献への意向について、「社会のために役立つことをしたい」と『思う』（「思う」+「どちらかといえば思う」）と回答した割合が 86.4%、『思わない』（「思わない」+「どちらかといえば思わない」）と回答した割合が 12.3%となっている。



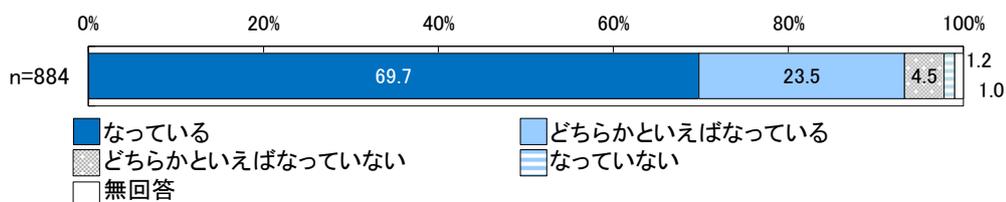
学年別にみると、「社会のために役立つことをしたい」と『思う』と回答した割合は、いずれの学年でも8割台となっている。

### 3 自分の居場所について

#### (1) 家庭での居場所

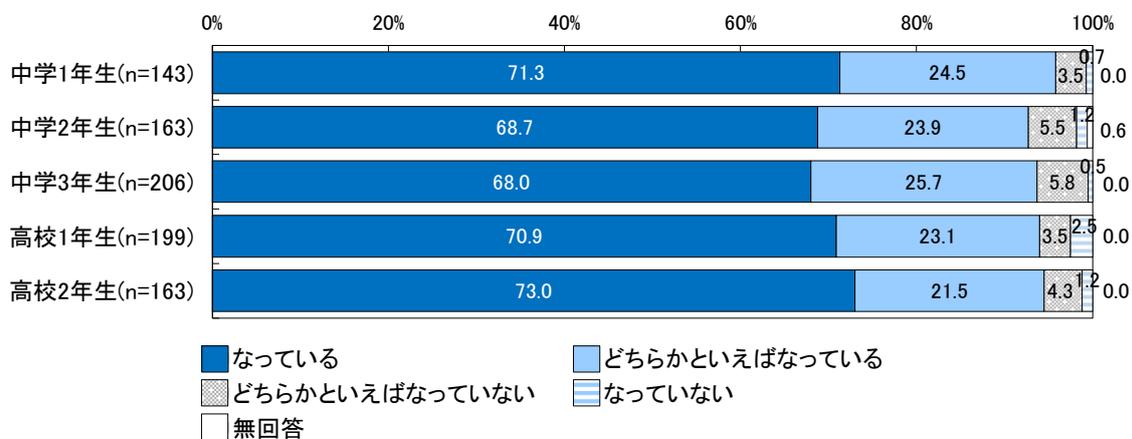
問9 あなたにとって、家庭は「ここに居たい」と感じる場所（居場所）になっていますか。  
(○は1つ)

【家庭での居場所】



家庭について、「ここに居たい」と感じる居場所に『なっている』（「なっている」+「どちらかといえばなっている」）と回答した割合が93.2%、『なっていない』（「なっていない」+「どちらかといえばなっていない」）と回答した割合が5.7%となっている。

【家庭での居場所（学年別）】

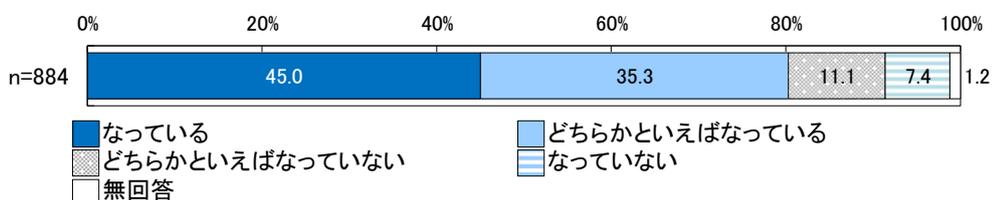


学年別にみると、「ここに居たい」と感じる居場所に『なっている』と回答した割合は、いずれの学年でも9割を超えている。

## (2) 学校での居場所

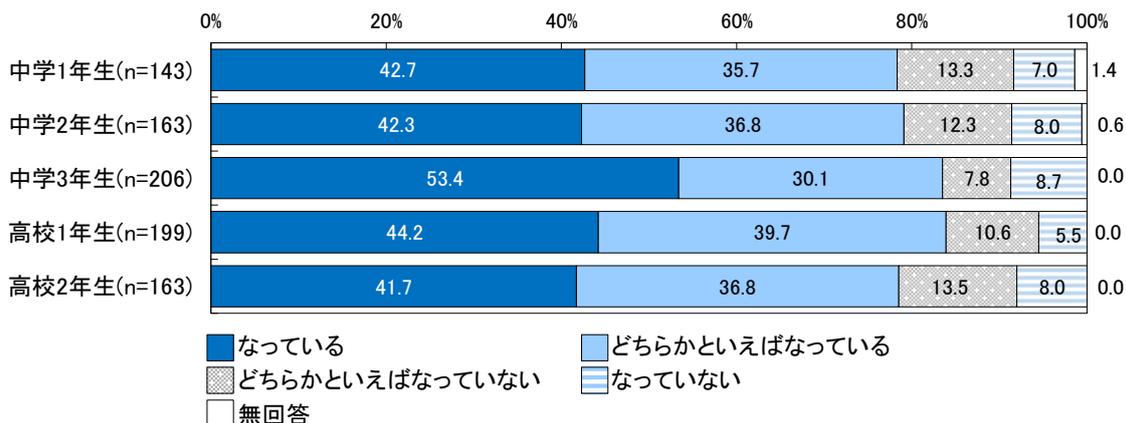
問 10 あなたにとって、学校は「ここに居たい」と感じる場所（居場所）になっていますか。  
（現在、在学していない方は在学時の状態をお答えください）（○は1つ）

【学校での居場所】



学校について、「ここに居たい」と感じる居場所に『なっている』（「なっている」+「どちらかといえばなっている」）と回答した割合が 80.3%、『なっていない』（「なっていない」+「どちらかといえばなっていない」）と回答した割合が 18.5%となっている。

【学校での居場所（学年別）】

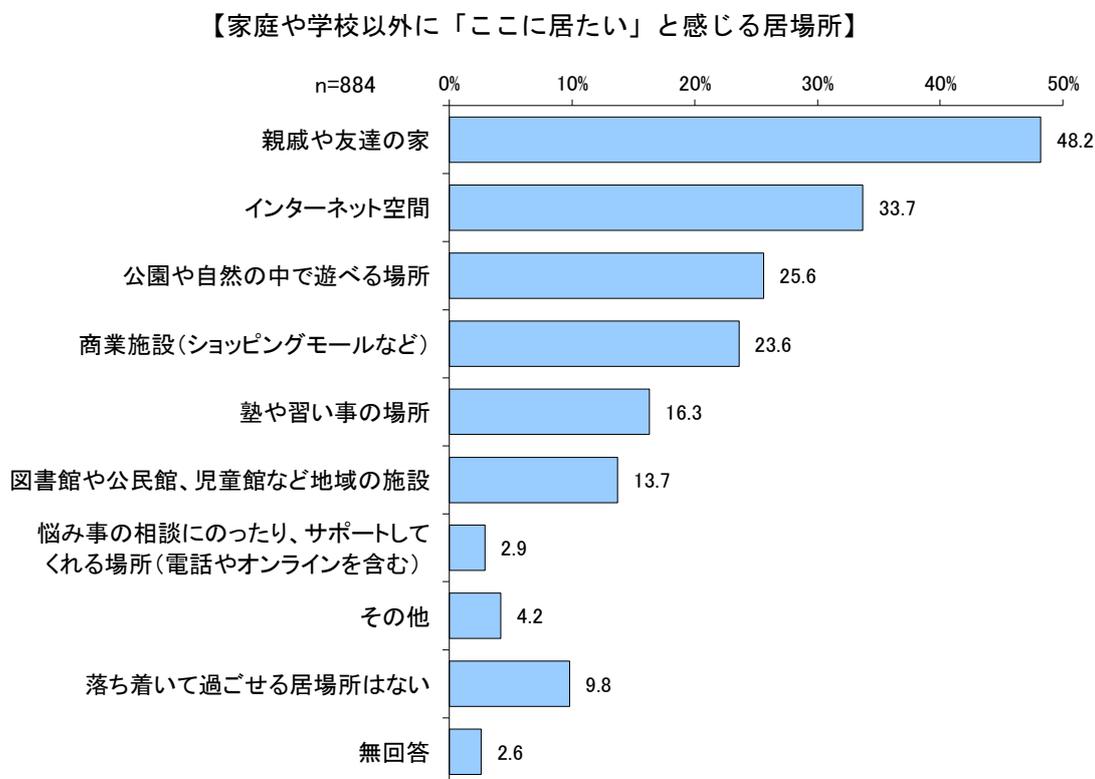


学年別にみると、「ここに居たい」と感じる居場所に『なっている』と回答した割合は中学3年生、高校1年生で8割台、中学1・2年生、高校2年生で7割台となっている。

また、「なっている」と回答した割合は、中学3年生で5割を超えている。

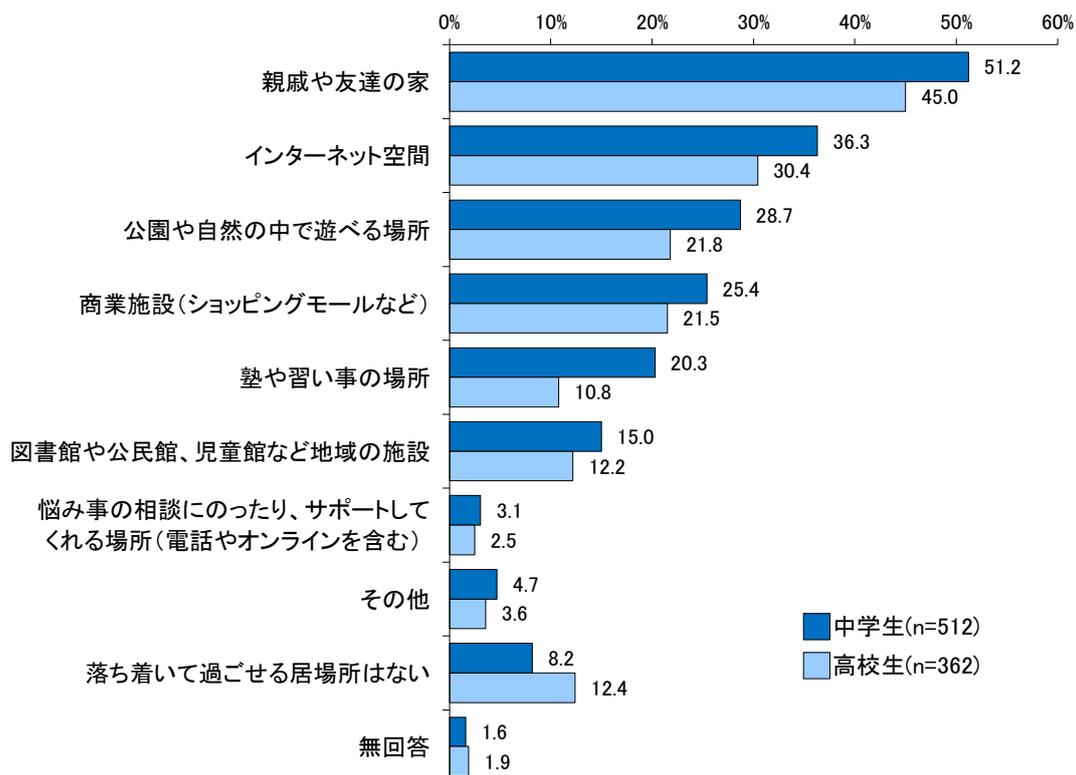
### (3) 家庭や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所

問 11 家庭や学校以外に、「ここに居たい」と感じる場所（居場所）がありますか。  
(○はいくつでも)



家庭や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所について、「親戚や友達の家」と回答した割合が 48.2%と最も高く、「インターネット空間」(33.7%)、「公園や自然の中で遊べる場所」(25.6%)、「商業施設(ショッピングモールなど)」(23.6%)が続いている。

【家庭や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所（中学生・高校生別）】



中学生、高校生別にみると、中学生では、「親戚や友達の家」と回答した割合が 51.2%と最も高く、「インターネット空間」(36.3%)、「公園や自然の中で遊べる場所」(28.7%)、「商業施設(ショッピングモールなど)」(25.4%)が続いている。

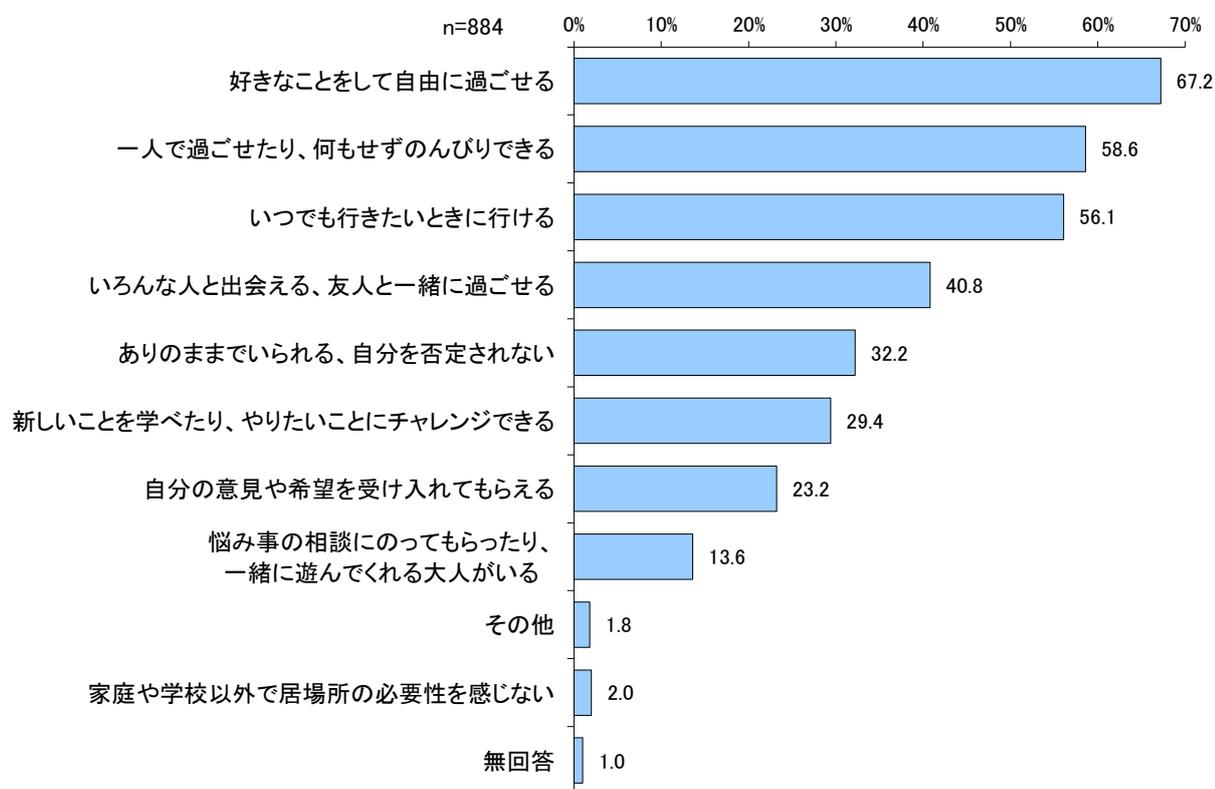
高校生では、「親戚や友達の家」と回答した割合が 45.0%と最も高く、「インターネット空間」(30.4%)、「公園や自然の中で遊べる場所」(21.8%)、「商業施設(ショッピングモールなど)」(21.5%)が続いている。

#### (4) 家庭や学校以外であつたらいいと思う居場所

問 12 あなたは家庭や学校以外で、どんな居場所があつたらいいと思いますか。

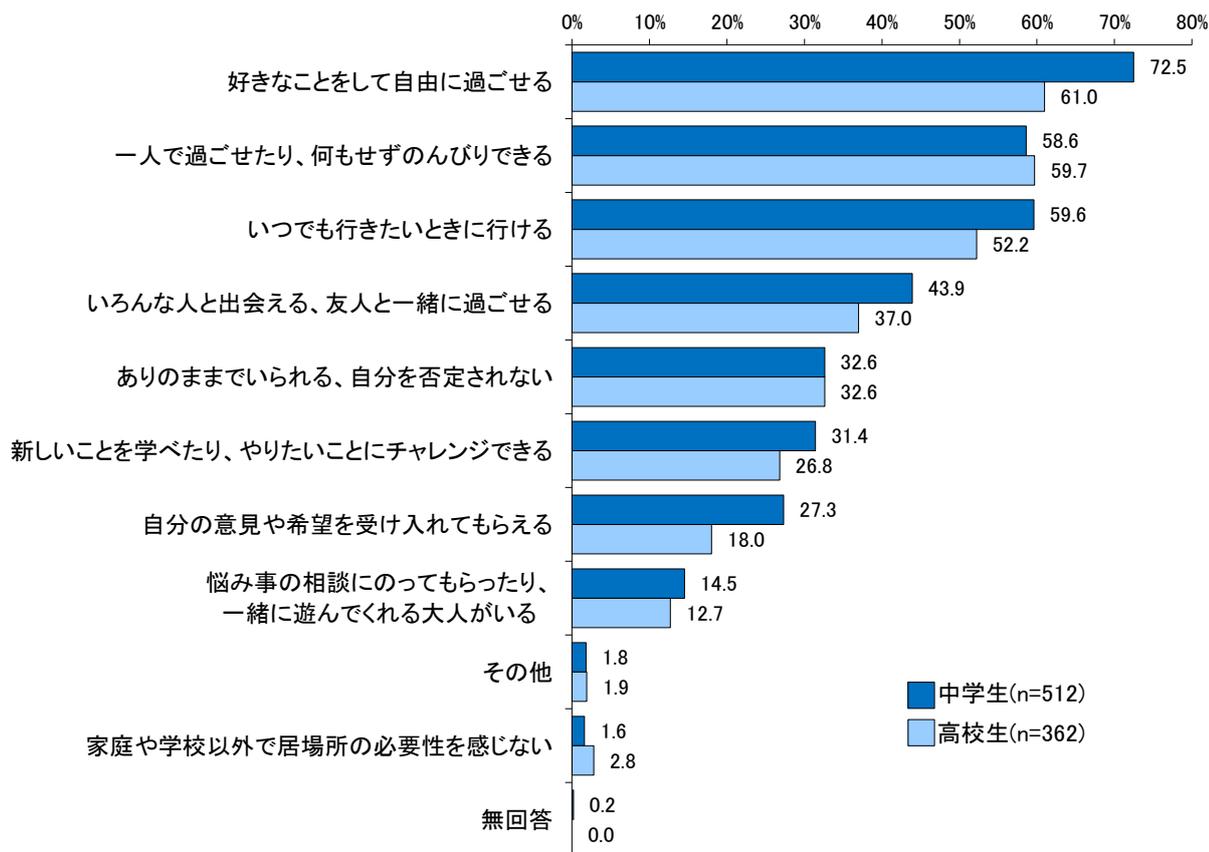
(○はいくつでも)

【家庭や学校以外であつたらいいと思う居場所】



家庭や学校以外であつたらいいと思う居場所について、「好きなことをして自由に過ごせる」と回答した割合が 67.2%と最も高く、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」(58.6%)、「いつでも行きたいときに行ける」(56.1%)が続いている。

【家庭や学校以外であつたらいいと思う居場所（中学生・高校生別）】



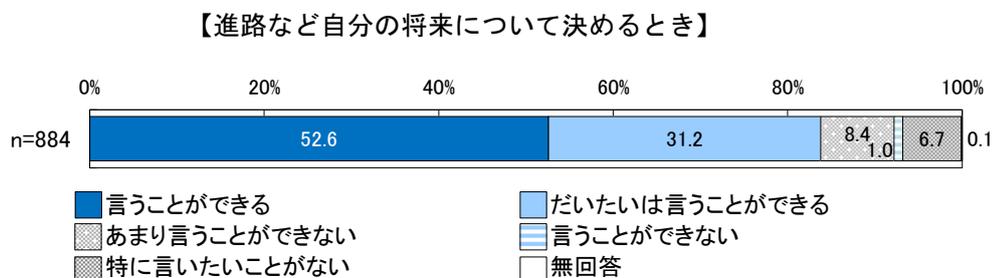
中学生、高校生別にみると、中学生では、「好きなことをして自由に過ごせる」と回答した割合が72.5%と最も高く、「いつでも行きたいときに行ける」(59.6%)、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」(58.6%)が続いている。

高校生では、「好きなことをして自由に過ごせる」と回答した割合が61.0%と最も高く、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」(59.7%)、「いつでも行きたいときに行ける」(52.2%)が続いている。

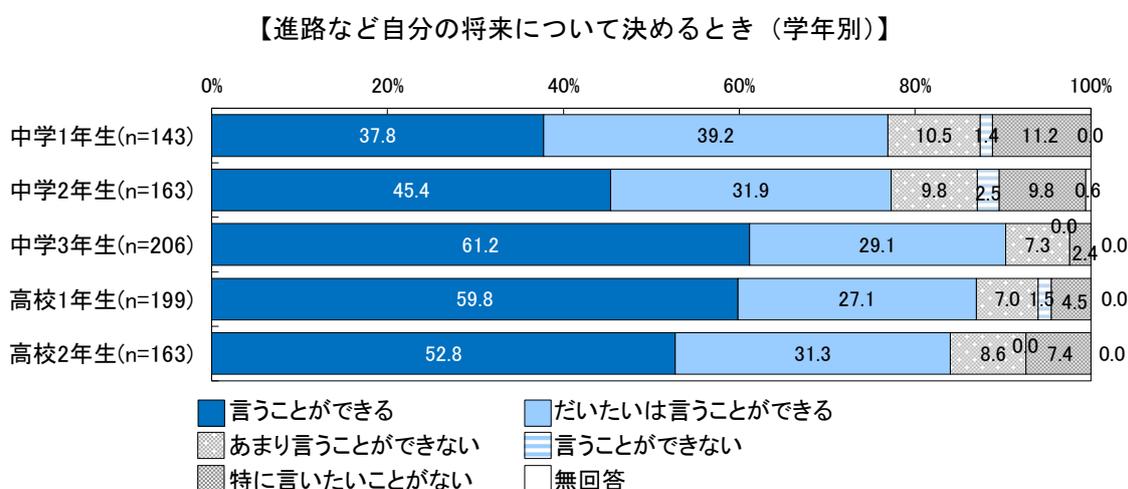
## 4 自分の意見を言う機会について

### (1) 進路など自分の将来について決めるとき

問 13 あなたは、進路など自分の将来について決めるとき、自分の考えや思いを言う機会がありますか。(○は1つ)



進路など自分の将来について決めるとき、自分の考えや思いを『言うことができる』（「言うことができる」＋「だいたい言うことができる」）と回答した割合が 83.8%、『言うことができない』（「言うことができない」＋「あまり言うことができない」）と回答した割合が 9.4%となっている。



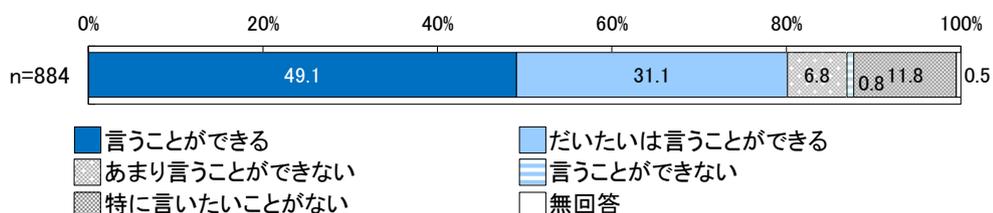
学年別にみると、自分の考えや思いを『言うことができる』と回答した割合は中学3年生で9割を超え、高校1・2年生では8割台、中学1・2年生では7割台となっている。

また、「言うことができる」と回答した割合は中学3年生、高校1年生で約6割となっている。

## (2) 家庭での大事な物事やルールを決めるとき

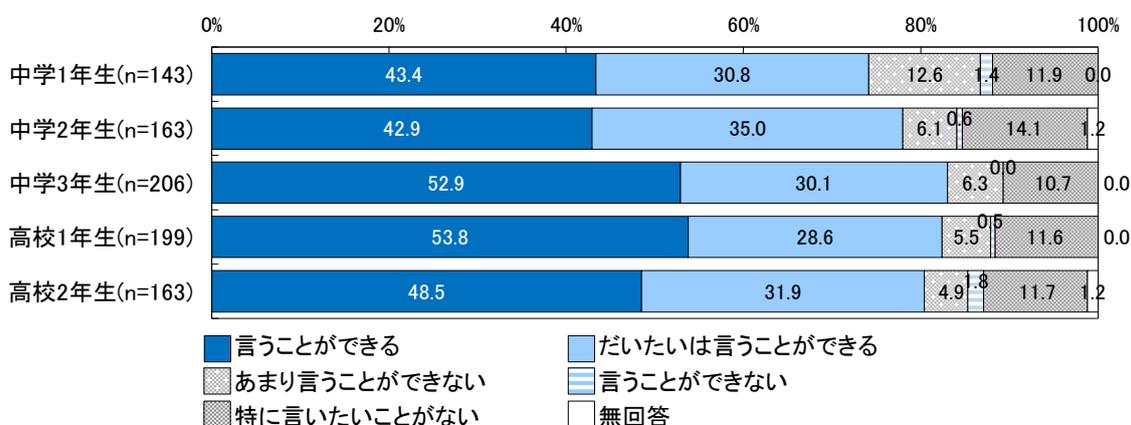
問 14 あなたは、家庭での大事な物事やルールを決めるとき、自分の考えや思いを言う機会がありますか。(○は1つ)

【家庭での大事な物事やルールを決めるとき】



家庭での大事な物事やルールを決めるとき、自分の考えや思いを『言うことができる』（「言うことができる」＋「だいたいは言うことができる」）と回答した割合が 80.2%、『言うことができない』（「言うことができない」＋「あまり言うことができない」）と回答した割合が 7.6% となっている。

【家庭での大事な物事やルールを決めるとき（学年別）】

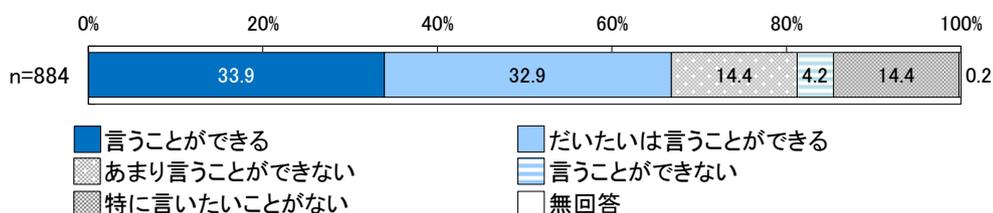


学年別にみると、自分の考えや思いを『言うことができる』と回答した割合は中学3年生、高校1・2年生で8割台、中学1・2年生で7割台となっている。

### (3) 学校での大事な物事やルールを決めるとき

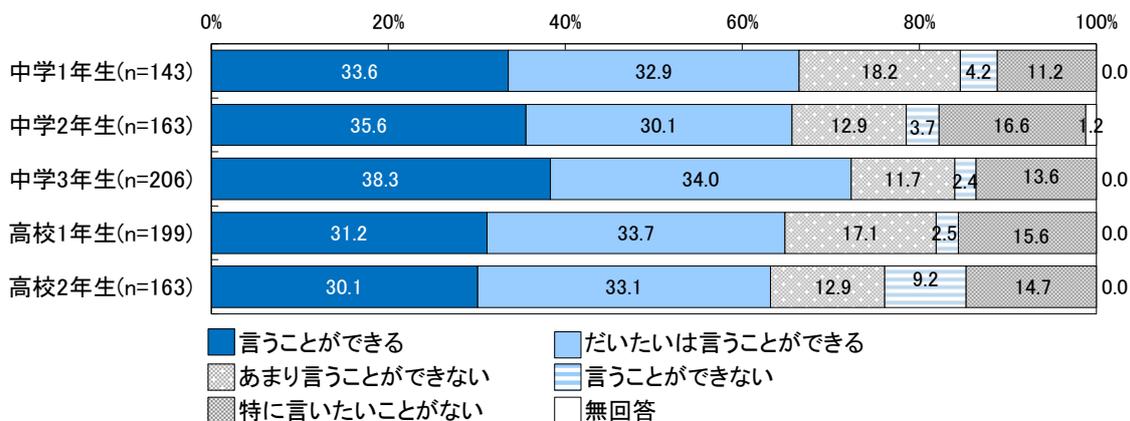
問 15 あなたは、学校での大事な物事やルールを決めるとき（現在、在学していない方は在学時の状態をお答えください）、自分の考えや思いを言う機会がありますか。（○は1つ）

【学校での大事な物事やルールを決めるとき】



学校での大事な物事やルールを決めるとき、自分の考えや思いを『言うことができる』（「言うことができる」＋「だいたい言うことができる」）と回答した割合が 66.8%、『言うことができない』（「言うことができない」＋「あまり言うことができない」）と回答した割合が 18.6% となっている。

【学校での大事な物事やルールを決めるとき（学年別）】

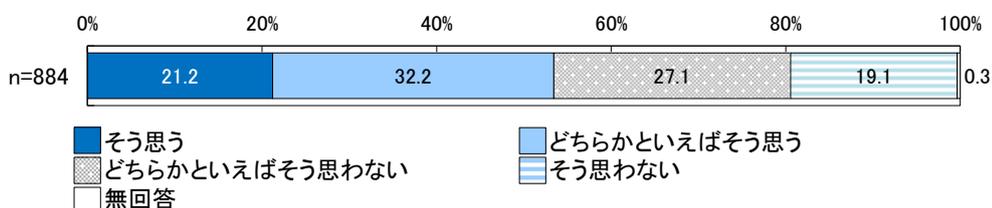


学年別にみると、自分の考えや思いを『言うことができる』と回答した割合は中学3年生で7割台、高校1・2年生、中学1・2年生で6割台となっている。

#### (4) 政策について意見を言う機会への参加意向

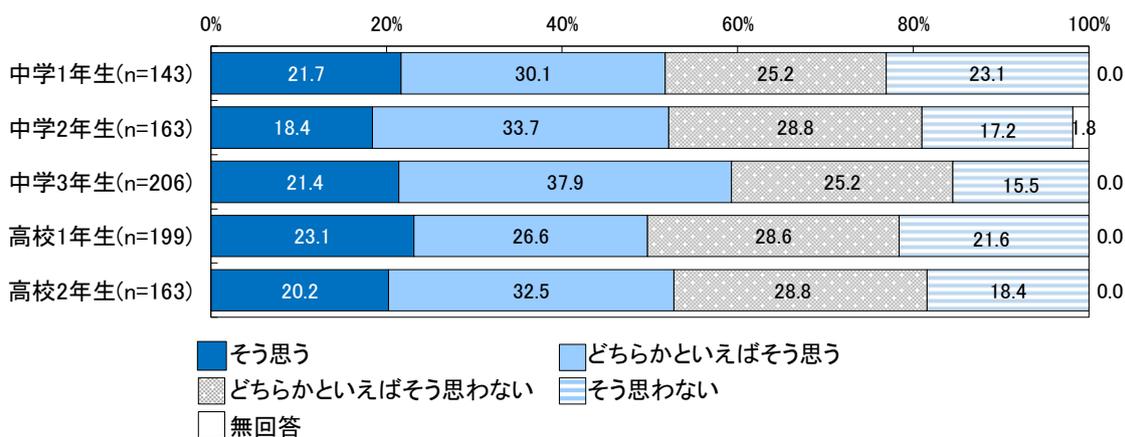
問 16 あなたの身近な問題や若い世代に関係する政策について意見を言う機会があったら、あなたは参加したいと思いますか。(○は1つ)

【政策について意見を言う機会への参加意向】



政策について意見を言う機会への参加意向について、参加したいと『思う』（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）と回答した割合が 53.4%、『思わない』（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）と回答した割合が 46.2%となっている。

【政策について意見を言う機会への参加意向（学年別）】



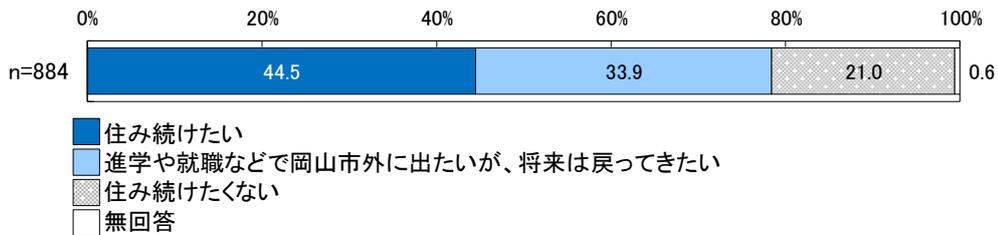
学年別にみると、参加したいと『思う』と回答した割合は中学1～3年生、高校2年生で5割台、高校1年生で4割台後半となっている。

## 5 将来の希望について

### (1) 岡山市での居住継続意向

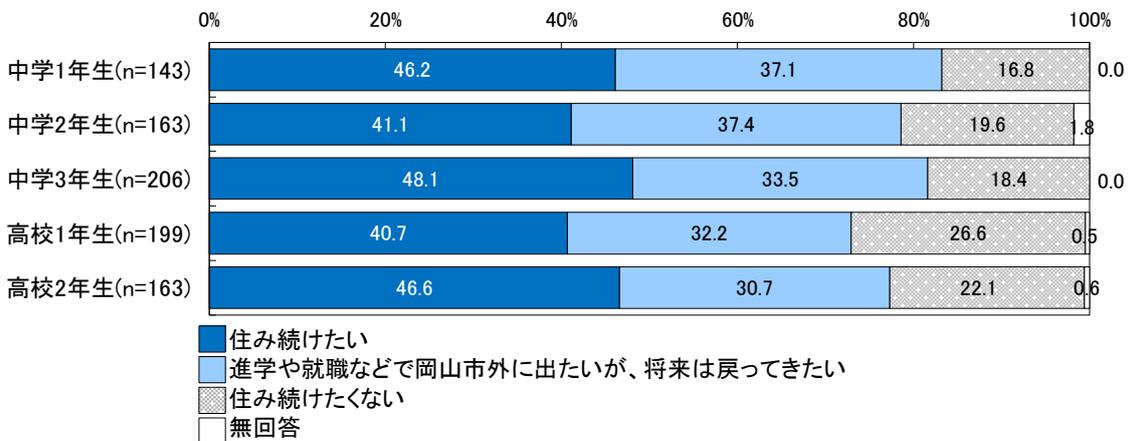
問 17 あなたは大人になってからも岡山市に住み続けたいと思いますか。成人（18歳）した後の希望についてお答えください。（○は1つ）

【岡山市での居住継続意向】



岡山市での居住継続意向について、「住み続けたい」と回答した割合が44.5%、「進学や就職などで岡山市外に出たいが、将来は戻ってきたい」と回答した割合が33.9%、「住み続けたくない」と回答した割合が21.0%となっている。

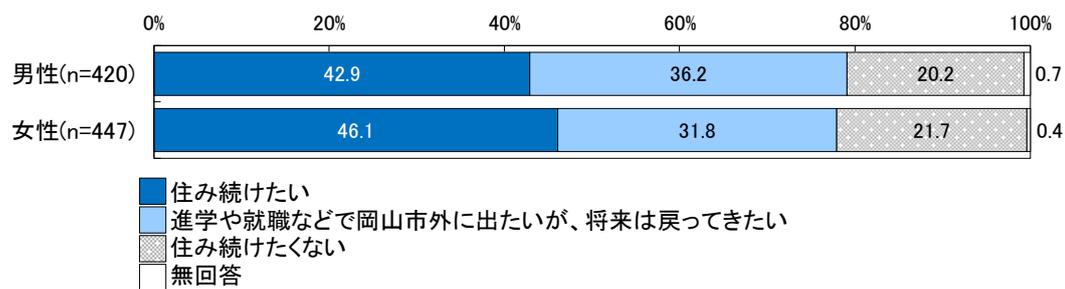
【岡山市での居住継続意向（学年別）】



学年別にみると、「住み続けたい」と回答した割合はいずれの学年も4割台、「進学や就職などで岡山市外に出たいが、将来は戻ってきたい」と回答した割合はいずれの学年も3割台となっている。

また、「住み続けたくない」と回答した割合は、高校1・2年生で2割台となっている。

【岡山市での居住継続意向（性別）】

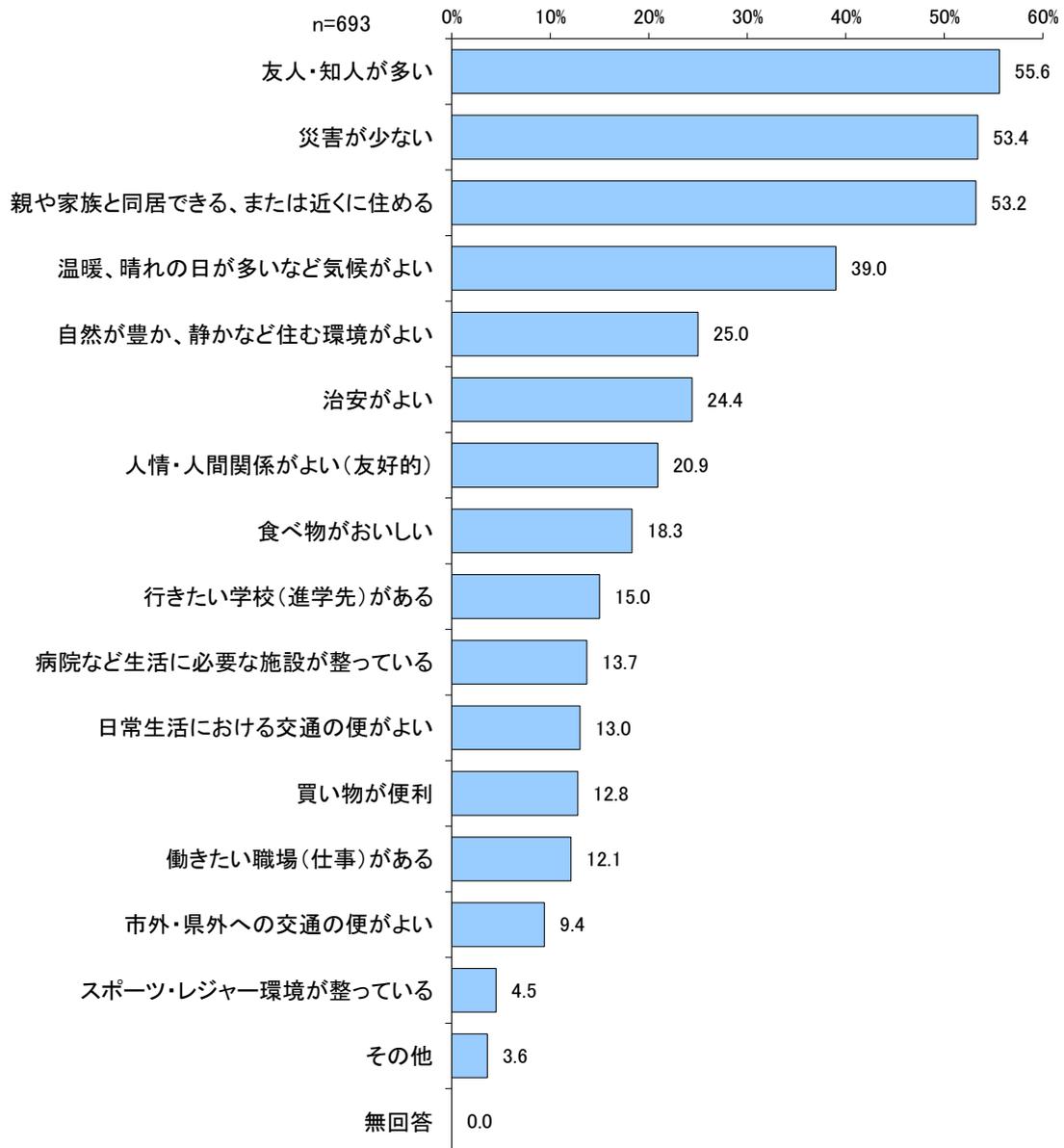


性別にみると、「住み続けたい」と回答した割合は男女ともに4割台、「進学や就職などで岡山市外に出たいが、将来は戻ってきたい」と回答した割合は男女ともに3割台となっている。

問 17 で「1 住み続けたい」「2 進学や就職などで岡山市外に出たいが、将来は戻ってきたい」と回答した人のみ回答

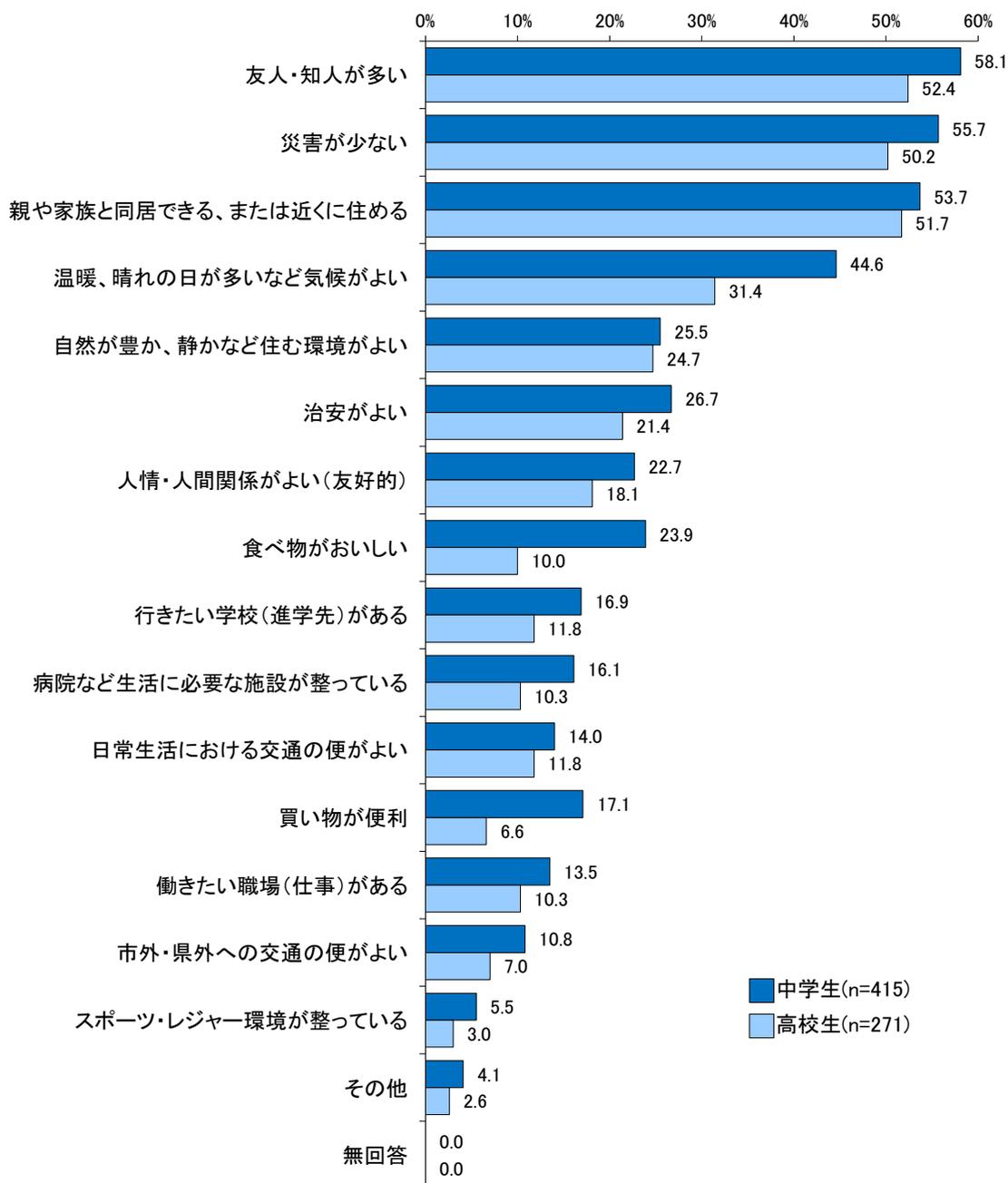
問 17-1 岡山市に住み続けたい、または将来は戻ってきたい理由を教えてください。  
(〇はいくつでも)

【岡山市に住み続けたいと思う理由】



岡山市に住み続けたいと思う理由について、「友人・知人が多い」と回答した割合が 55.6% と最も高く、「災害が少ない」(53.4%)、「親や家族と同居できる、または近くに住める」(53.2%)が続いている。

【岡山市に住み続けたいと思う理由（中学生・高校生別）】



中学生、高校生別にみると、中学生では、「友人・知人が多い」と回答した割合が 58.1%と最も高く、「災害が少ない」(55.7%)、「親や家族と同居できる、または近くに住める」(53.7%)が続いている。

高校生では、「友人・知人が多い」と回答した割合が 52.4%と最も高く、「親や家族と同居できる、または近くに住める」(51.7%)、「災害が少ない」(50.2%)が続いている。

## (2) 結婚への希望

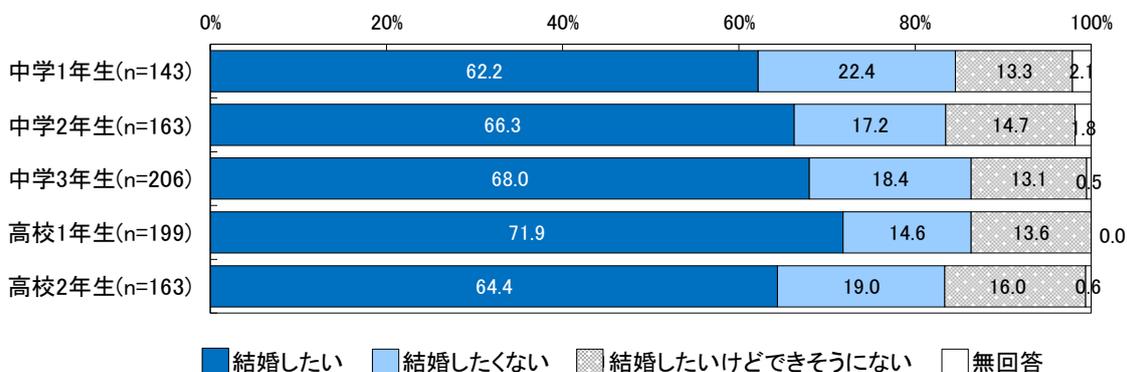
問 18 あなたは将来、結婚したいですか。結婚するとしたら何歳までにしたいですか。  
(○は1つ)

【結婚への希望】



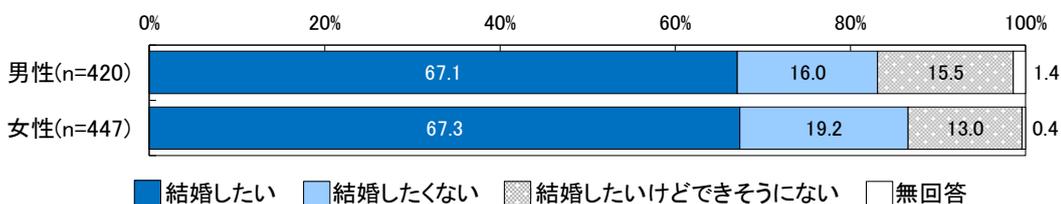
結婚への希望について、「結婚したい」と回答した割合が66.7%、「結婚したくない」と回答した割合が18.2%、「結婚したいけどできそうにない」と回答した割合が14.1%となっている。

【結婚への希望（学年別）】



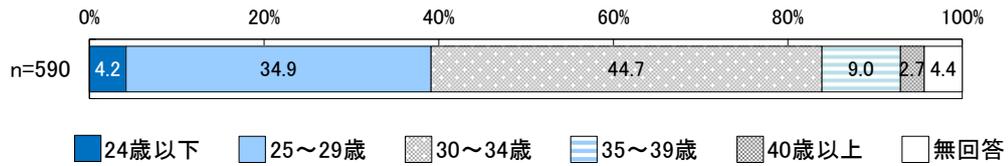
学年別にみると、「結婚したい」と回答した割合は高校1年生で7割台、中学1～3年生、高校2年生で6割台となっている。

【結婚への希望（性別）】



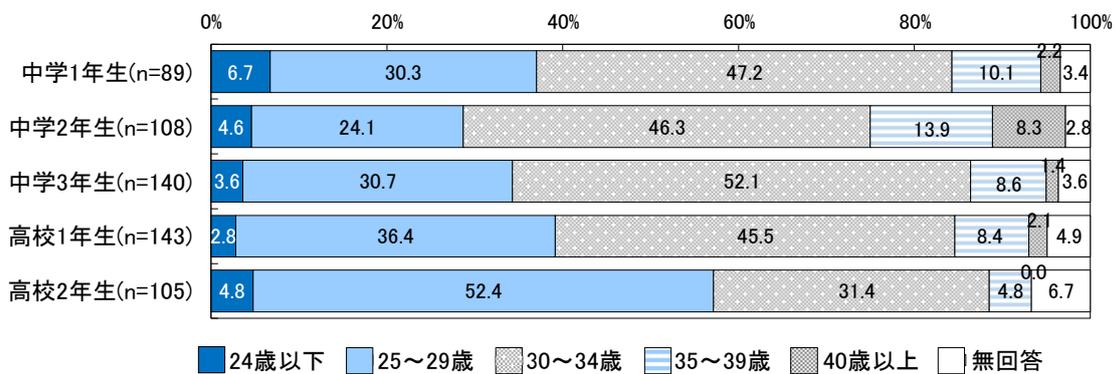
性別にみると、「結婚したい」と回答した割合は男女ともに6割台となっている。

### 【結婚したいと思う年齢】



結婚したいと思う年齢について、「25~29歳」と回答した割合が34.9%、「30~34歳」と回答した割合が44.7%となっている。

### 【結婚したいと思う年齢（学年別）】

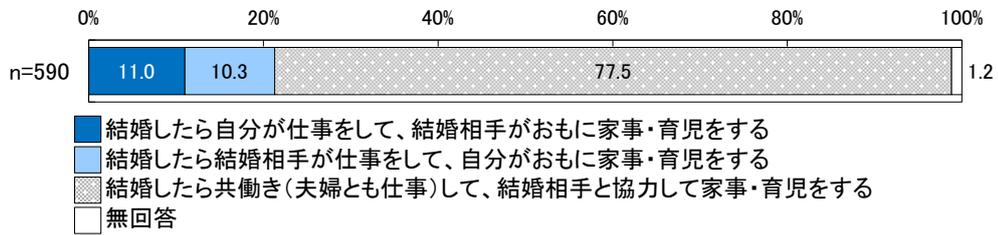


学年別にみると、中学1~3年生、高校1年生では「30~34歳」と回答した割合が最も高く、4割台~5割台、高校2年生では「25~29歳」と回答した割合が最も高く、5割台となっている。

問 18 で「1 結婚したい」と回答した人のみ回答

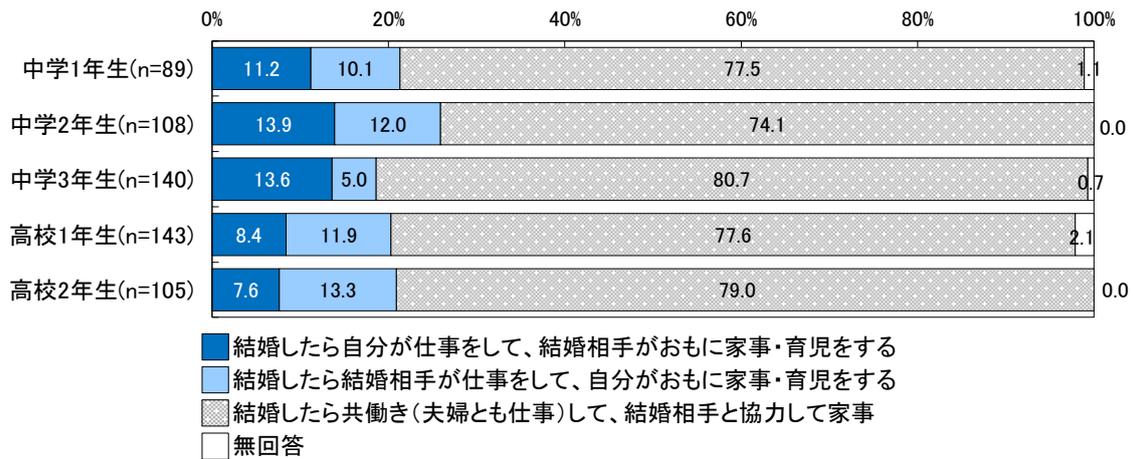
問 18-1 結婚をした後の仕事についてあてはまる考え方はどれですか。(〇は1つ)

【結婚後の仕事への考え方】



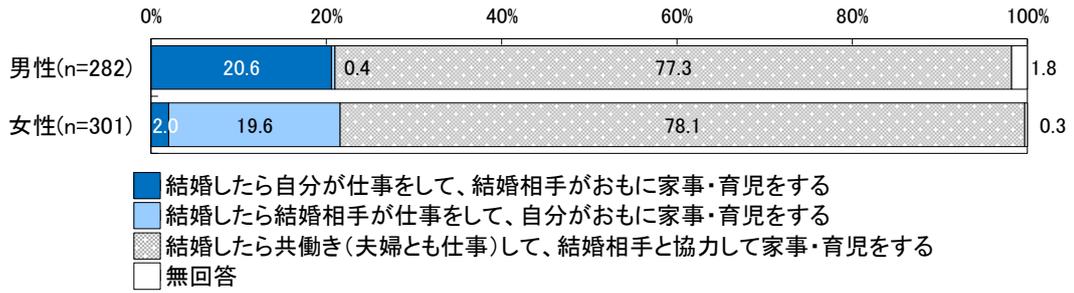
結婚後の仕事への考え方について、「結婚したら自分が仕事をして、結婚相手がおもに家事・育児をする」と回答した割合が 11.0%、「結婚したら結婚相手が仕事をして、自分がおもに家事・育児をする」と回答した割合が 10.3%、「結婚したら共働き（夫婦とも仕事）して、結婚相手と協力して家事・育児をする」と回答した割合が 77.5%となっている。

【結婚後の仕事への考え方（学年別）】



学年別にみると、「結婚したら共働き（夫婦とも仕事）して、結婚相手と協力して家事・育児をする」と回答した割合は、中学3年生で8割台、中学1・2年生、高校1・2年生で7割台となっている。

【結婚後の仕事への考え方（性別）】

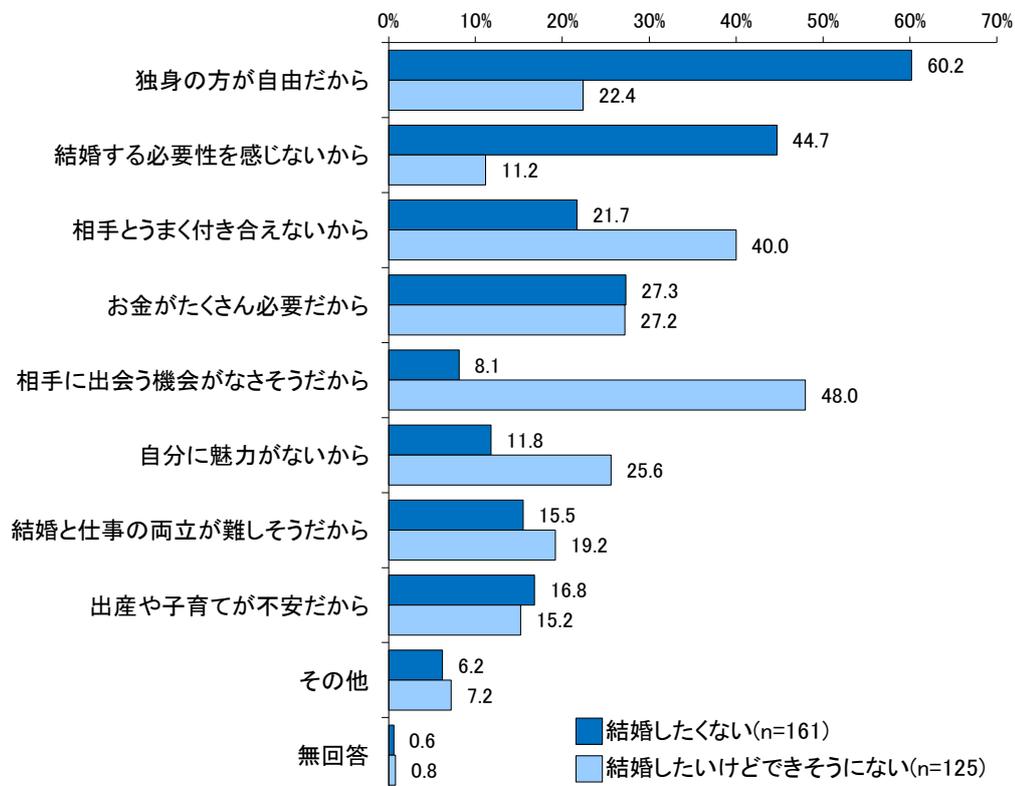


性別にみると、男女ともに「結婚したら共働き（夫婦とも仕事）して、結婚相手と協力して家事・育児をする」と回答した割合が7割台であり、男性では、「結婚したら自分が仕事をして、結婚相手がおもに家事・育児をする」と回答した割合が20.6%、女性では「結婚したら結婚相手が仕事をして、自分がおもに家事・育児をする」と回答した割合が19.6%となっている。

問 18 で「2 結婚したくない」「3 結婚したいけどできそうにない」と回答した人のみ回答

問 18-2 そう思う理由を教えてください。(〇は3つまで)

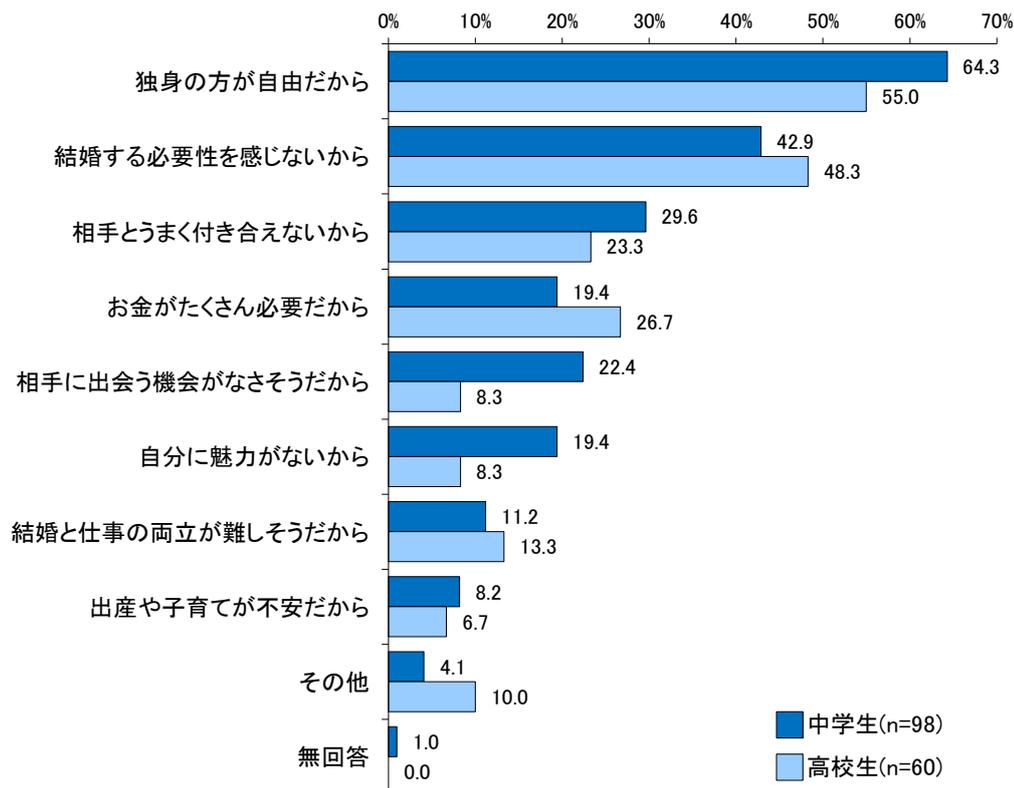
【結婚したくない・結婚できそうにない理由】



結婚したくないと回答した人のその理由について、「独身の方が自由だから」と回答した割合が 60.2%と最も高く、「結婚する必要性を感じないから」(44.7%)、「お金がたくさん必要だから」(27.3%)が続いている。

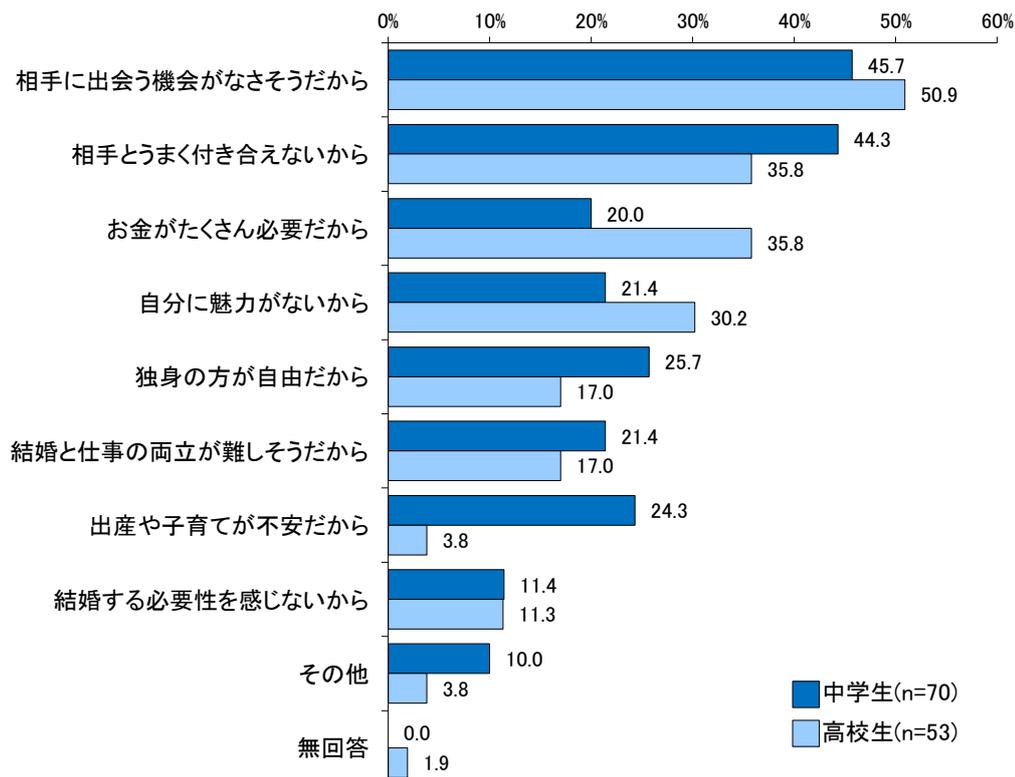
結婚したいけどできそうにないと回答した人のその理由について、「相手に出会う機会がなさそうだから」と回答した割合が 48.0%と最も高く、「相手とうまく付き合えないから」(40.0%)、「お金がたくさん必要だから」(27.2%)が続いている。

【結婚したくない理由（結婚したくないと回答した人）】



結婚したくないと回答した人のその理由について中学生、高校生別にみると、中学生、高校生ともに、「独身の方が自由だから」、「結婚する必要性を感じないから」と回答した割合が上位2項目となっており、次いで、中学生では「相手とうまく付き合えないから」、高校生では「お金がたくさん必要だから」となっている。

【結婚できない理由（結婚したいけどできそうにないと回答した人）】

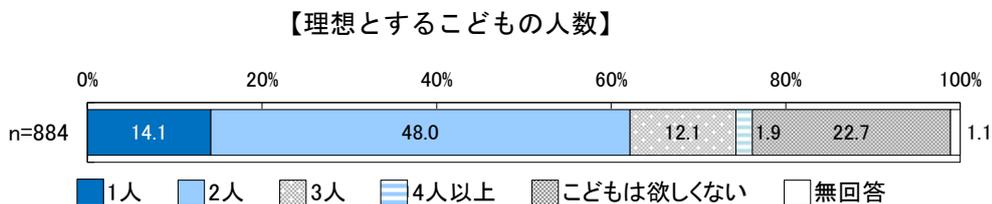


結婚したいけどできそうにないと回答した人のその理由について中学生、高校生別にみると、中学生では、「相手に出会う機会がなさそうだから」、「相手とうまく付き合えないから」と回答した人の割合がともに4割台で上位となっている。

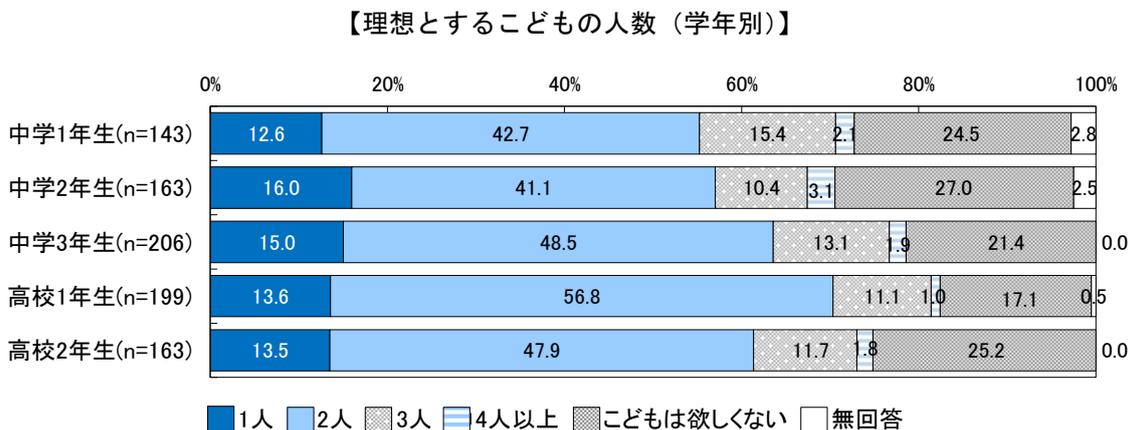
高校生では、「相手に出会う機会がなさそうだから」と回答した人の割合が5割台と最も高く、「相手とうまく付き合えないから」、「お金がたくさん必要だから」が3割台と続いている。

### (3) 理想とすることどもの人数

問 19 あなたは将来、子どもをもちたいですか。子どもをもつとしたら何人が理想ですか。  
(○は1つ)

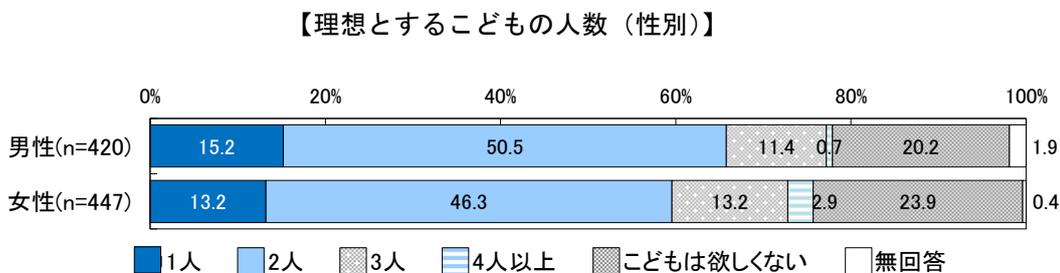


理想とすることどもの人数について、「1人」と回答した割合が14.1%、「2人」と回答した割合が48.0%、「3人」と回答した割合が12.1%、「4人以上」と回答した割合が1.9%となっている。また、「子どもは欲しくない」と回答した割合が22.7%となっている。



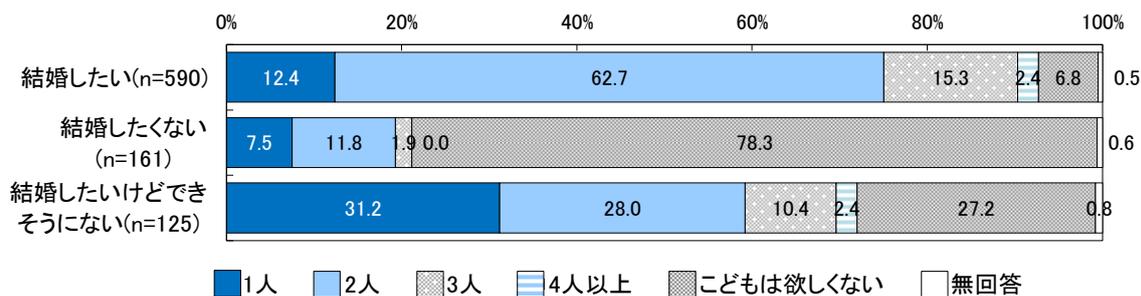
学年別にみると、いずれの学年も「2人」と回答した割合が最も高く、4割台から5割台となっている。

また、「子どもは欲しくない」と回答した割合は中学1～3年生、高校2年生で2割を超えている。



性別にみると、男女ともに「2人」と回答した割合が最も高くなっている。また、「子どもは欲しくない」と回答した割合は男女ともに2割台となっている。

【理想とするこどもの人数（結婚への希望別）】

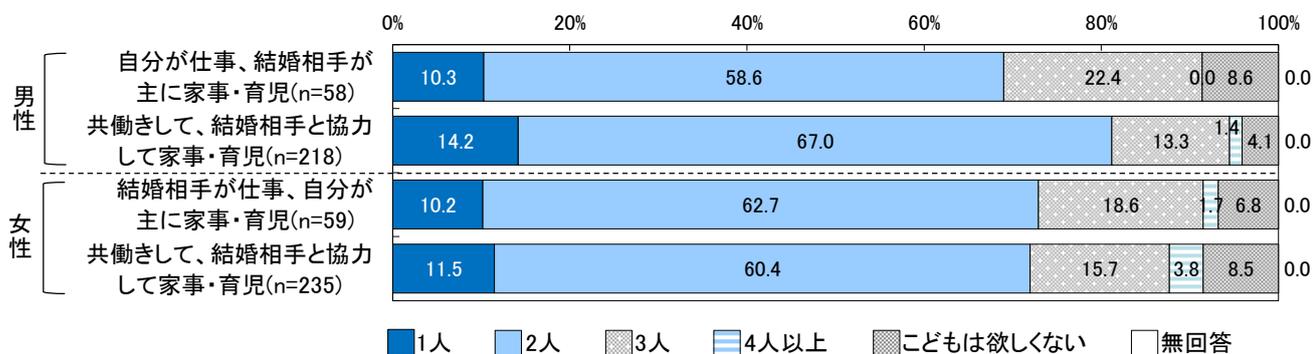


結婚への希望別にみると、結婚したいと回答した層では、「2人」と回答した割合が62.7%と最も高く、次いで「3人」と回答した人の割合が15.3%となっている。

結婚したいけどできそうにないと回答した層では、「1人」と回答した人の割合が31.2%と最も高く、次いで「2人」と回答した割合が28.0%であり、「こどもは欲しくない」と回答した人の割合も27.2%となっている。

結婚したくないと回答した層では、「こどもは欲しくない」と回答した人の割合が78.3%となっている。

【理想とするこどもの人数（結婚後の仕事についての考え方別）】

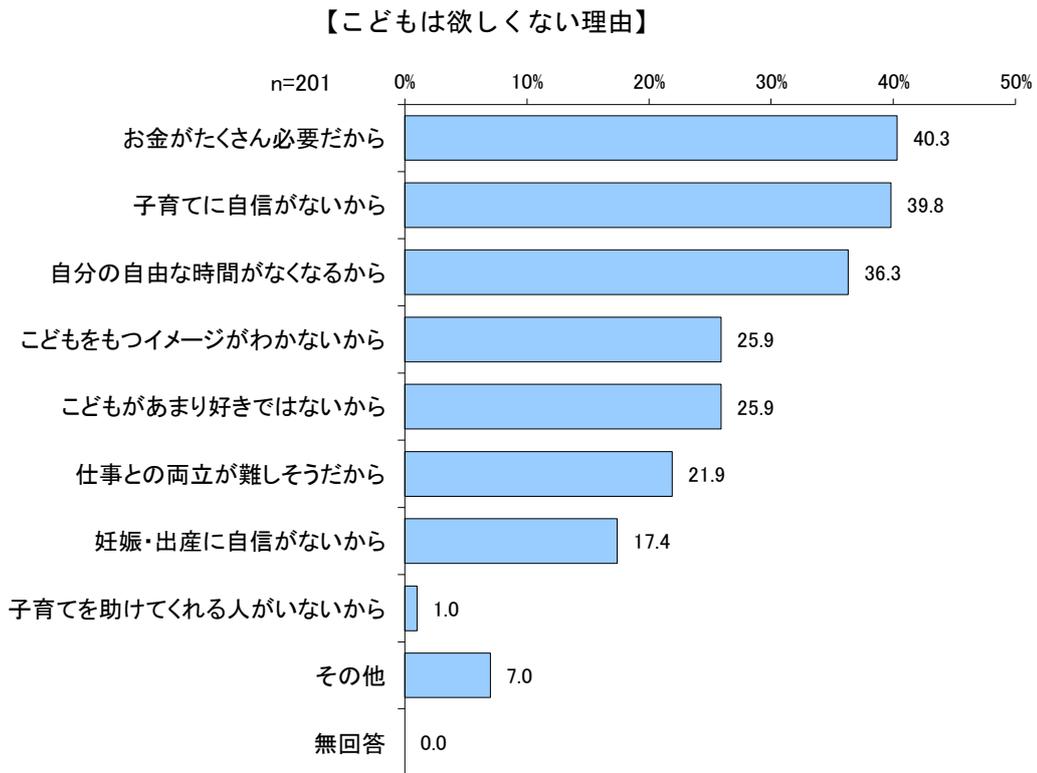


結婚後の仕事についての考え方別にみると、いずれの層も「2人」と回答した割合が最も高くなっている。

また、男性の「自分が仕事、結婚相手が主に家事・育児」と回答した層で「3人」と回答した割合が2割台となっている。

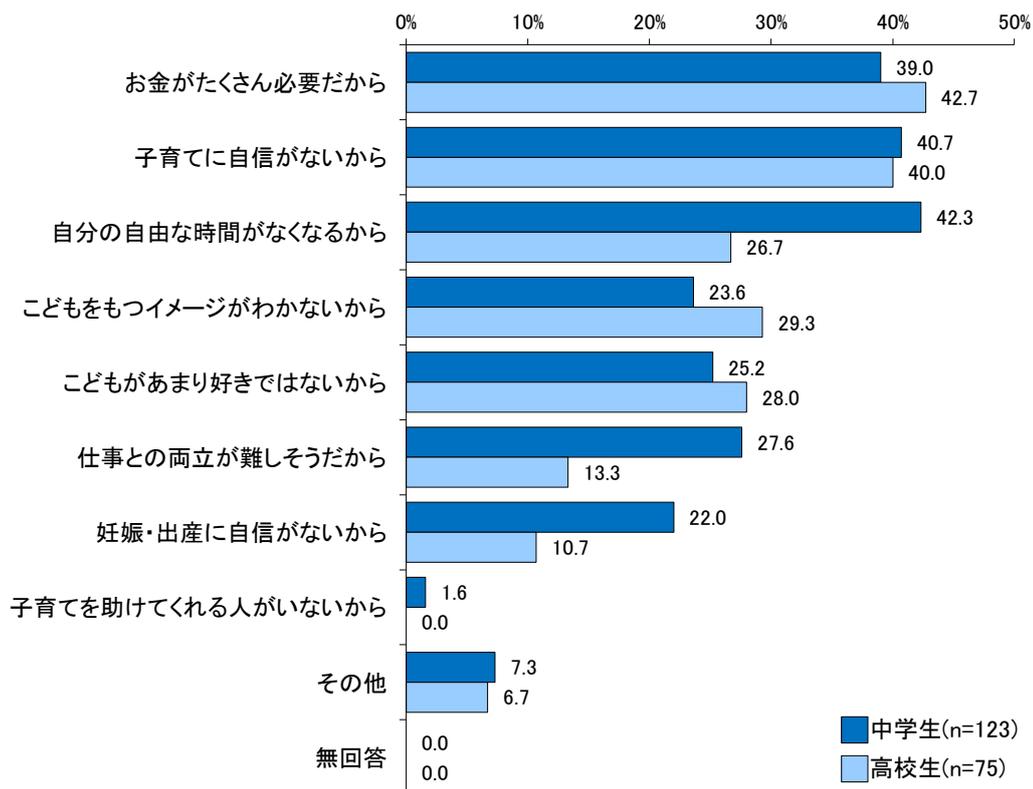
問 19 で「5 こどもは欲しくない」と回答した人のみ回答

問 19-1 こどもは欲しくない理由は何ですか。(〇は3つまで)



こどもは欲しくない理由について、「お金がたくさん必要だから」と回答した割合が 40.3% と最も高く、「子育てに自信がないから」(39.8%)、「自分の自由な時間がなくなるから」(36.3%)が続いている。

【子どもが欲しくない理由（中学生・高校生別）】



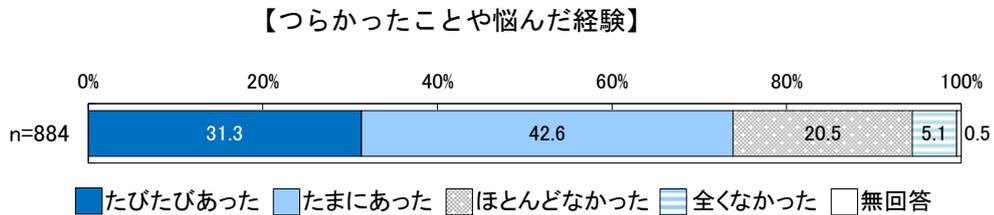
中学生、高校生別にみると、中学生では、「自分の自由な時間がなくなるから」と回答した割合が 42.3%と最も高く、「子育てに自信がないから」（40.7%）、「お金がたくさん必要だから」（39.0%）が続いている。

高校生では、「お金がたくさん必要だから」と回答した割合が 42.7%と最も高く、次いで「子育てに自信がないから」（40.0%）となっている。

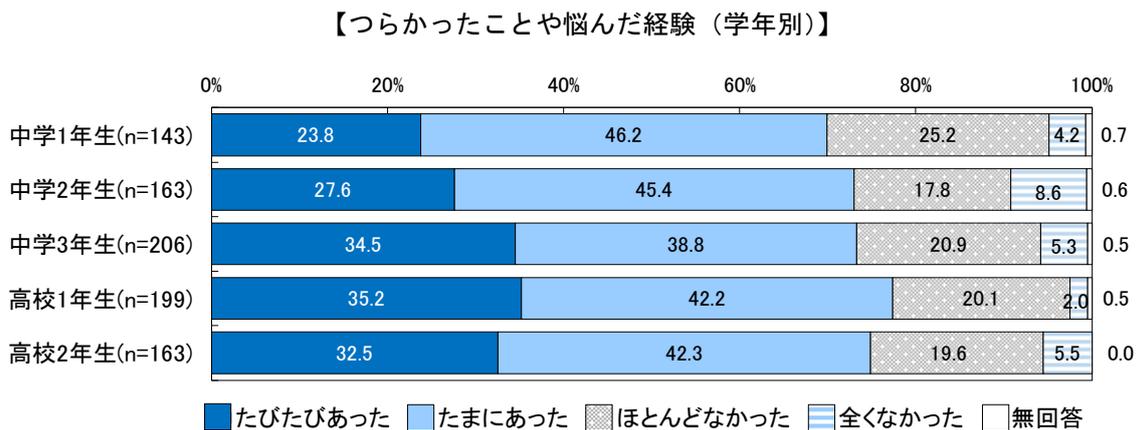
## 6 つらかったことや悩みについて

### (1) つらかったことや悩んだ経験

問 20 今までに、とてもつらかったことや悩んだことはありますか。(○は1つ)



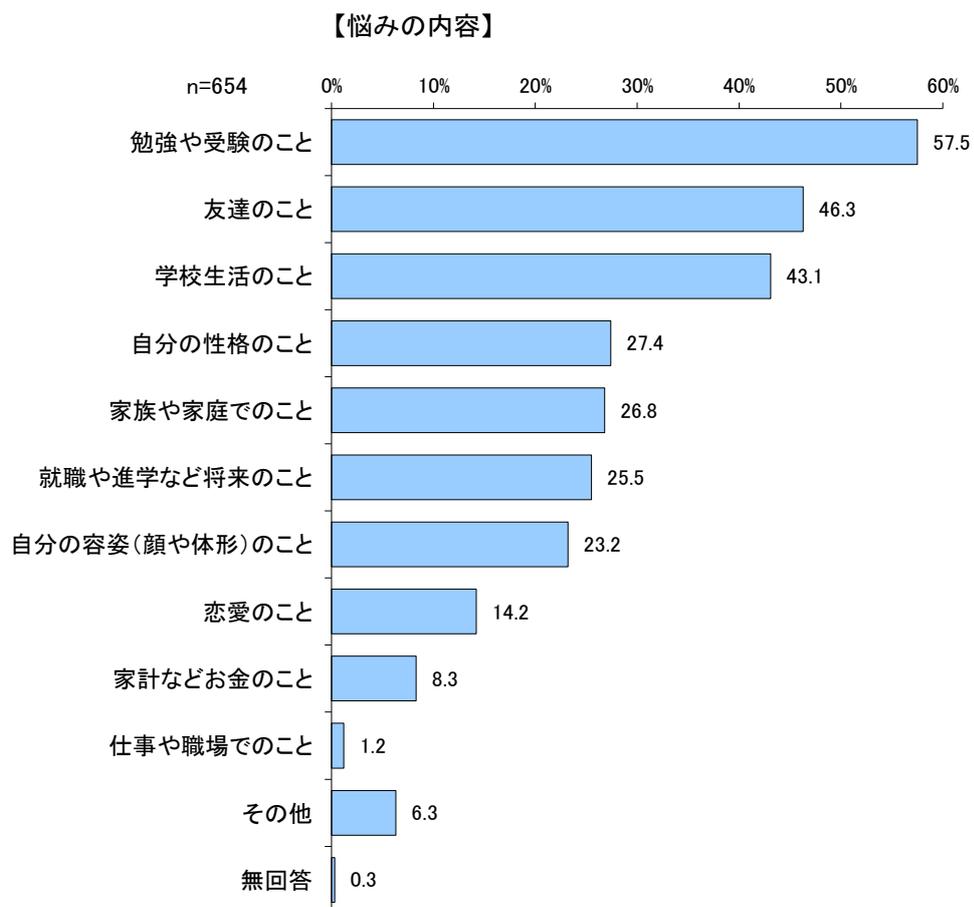
つらかったことや悩んだ経験について、「たびたびあった」と回答した割合が31.3%、「たまにあった」と回答した割合が42.6%、『なかった』（「全くなかった」+「ほとんどなかった」）と回答した割合が25.6%となっている。



学年別にみると、「たびたびあった」と回答した割合は、中学3年生、高校1・2年生で3割台、中学1・2年生で2割台となっている。

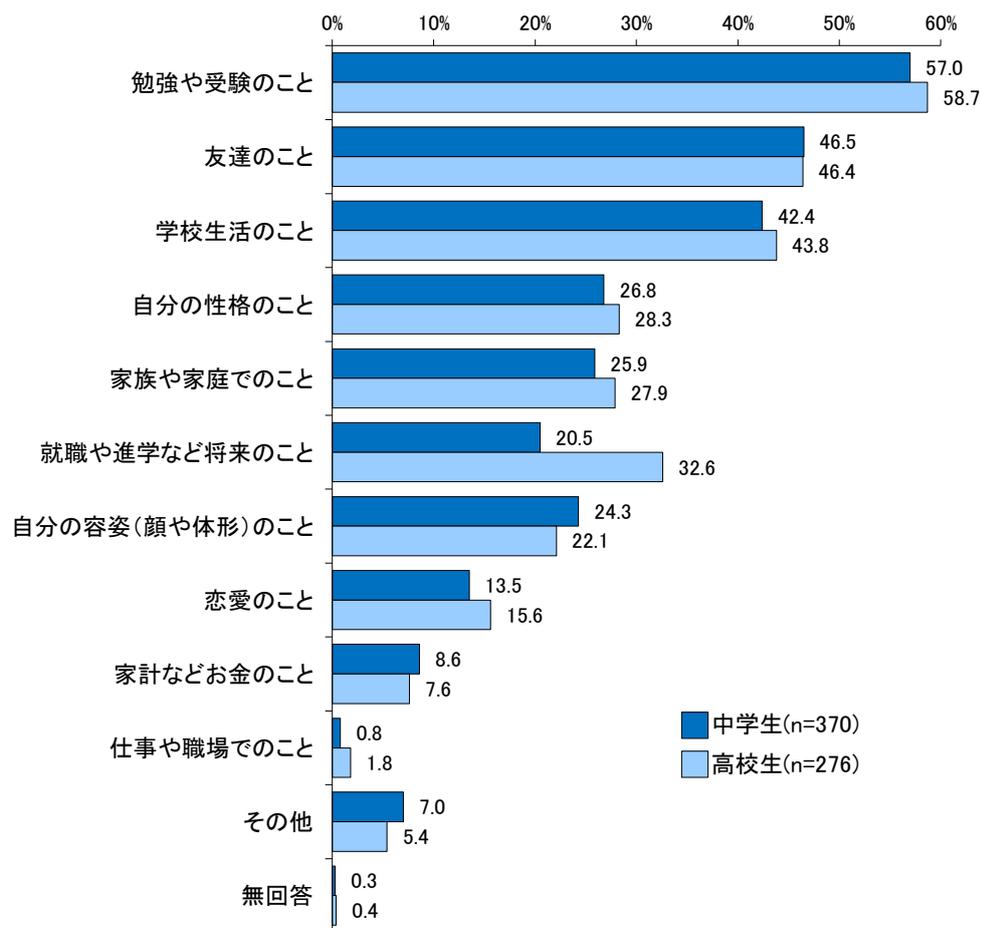
問 20 で「1 たびたびあった」「2 たまにあった」と回答した人のみ回答

問 20-1 そのつらかったことや悩んだことはどんなことですか。(〇はいくつでも)



悩みの内容について、「勉強や受験のこと」と回答した割合が 57.5%と最も高く、「友達のこと」(46.3%)、「学校生活のこと」(43.1%)が続いている。

### 【悩みの内容（中学生・高校生別）】



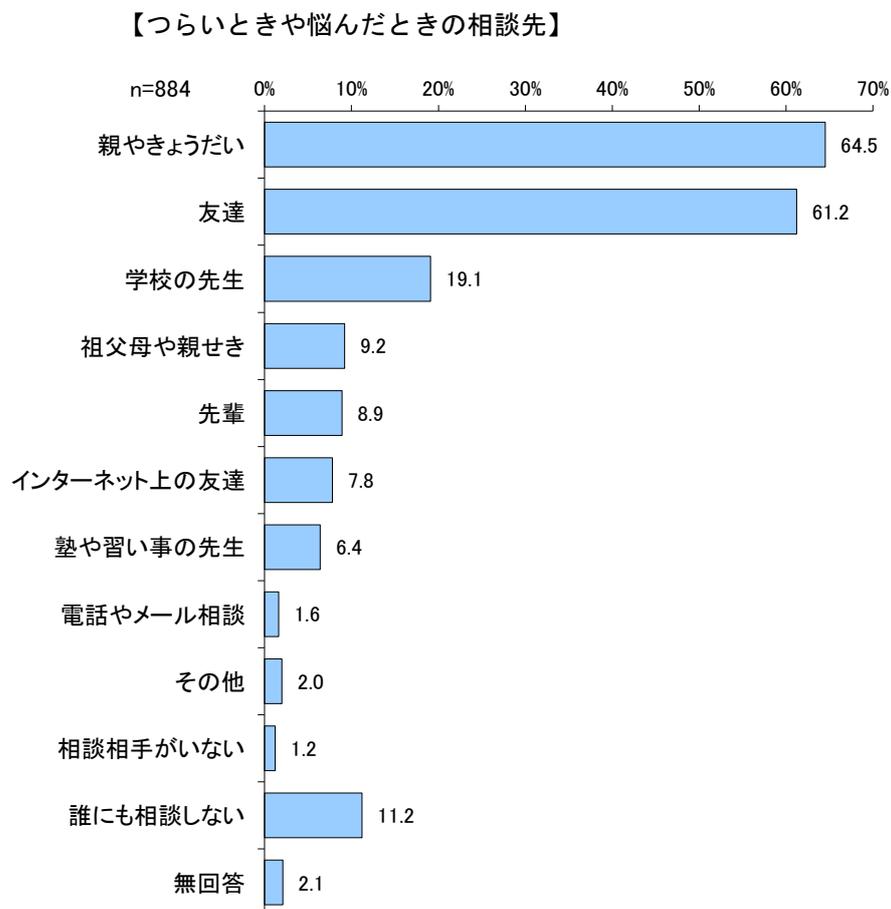
中学生、高校生別にみると、中学生では、「勉強や受験のこと」と回答した割合が 57.0%と最も高く、「友達のこと」(46.5%)、「学校生活のこと」(42.4%)が続いている。

高校生では、「勉強や受験のこと」と回答した割合が 58.7%と最も高く、「友達のこと」(46.4%)、「学校生活のこと」(43.8%)が続いている。

また、高校生では「就職や進学など将来のこと」と回答した割合が3割を超えている。

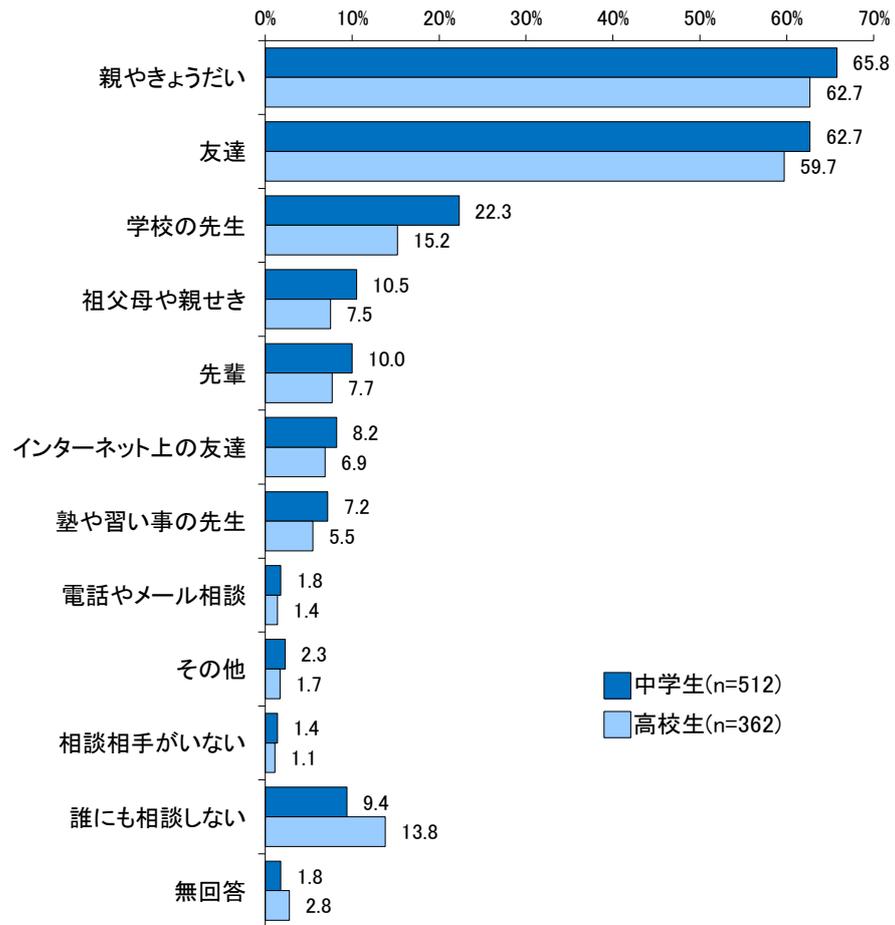
## (2) つらいときや悩んだときの相談先

問 21 あなたはつらいときや悩んだときに、誰に相談しますか。(〇はいくつでも)



つらいときや悩んだときの相談先について、「親やきょうだい」と回答した割合が 64.5%と最も高く、次いで「友達」(61.2%)となっている。

【つらいときや悩んだときの相談先（中学生・高校生別）】



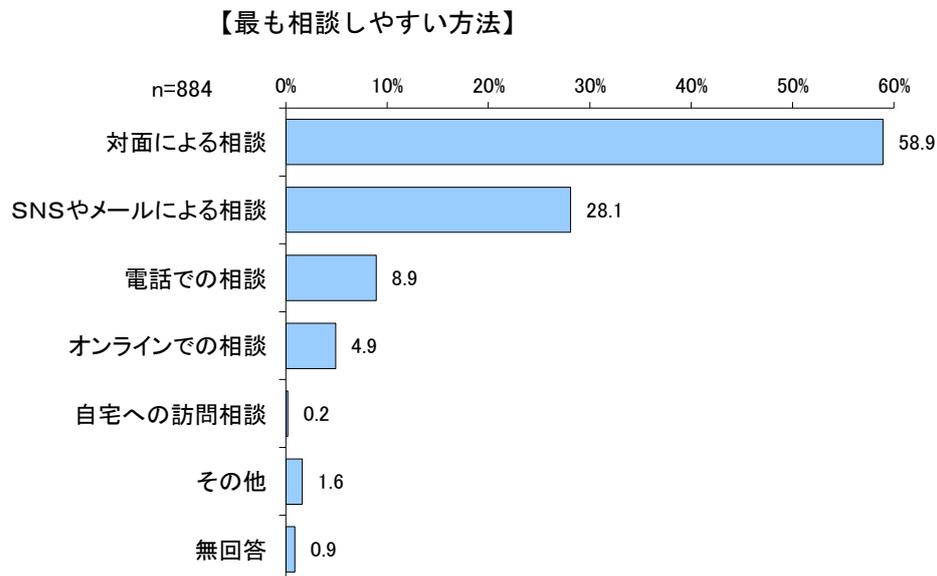
中学生、高校生別にみると、中学生では、「親やきょうだい」と回答した割合が 65.8%と最も高く、次いで「友達」(62.7%) となっている。

高校生では、「親やきょうだい」と回答した割合が 62.7%と最も高く、次いで「友達」(59.7%) となっている。

また、「誰にも相談しない」と回答した人の割合は、高校生が中学生よりも 4.4 ポイント高くなっている。

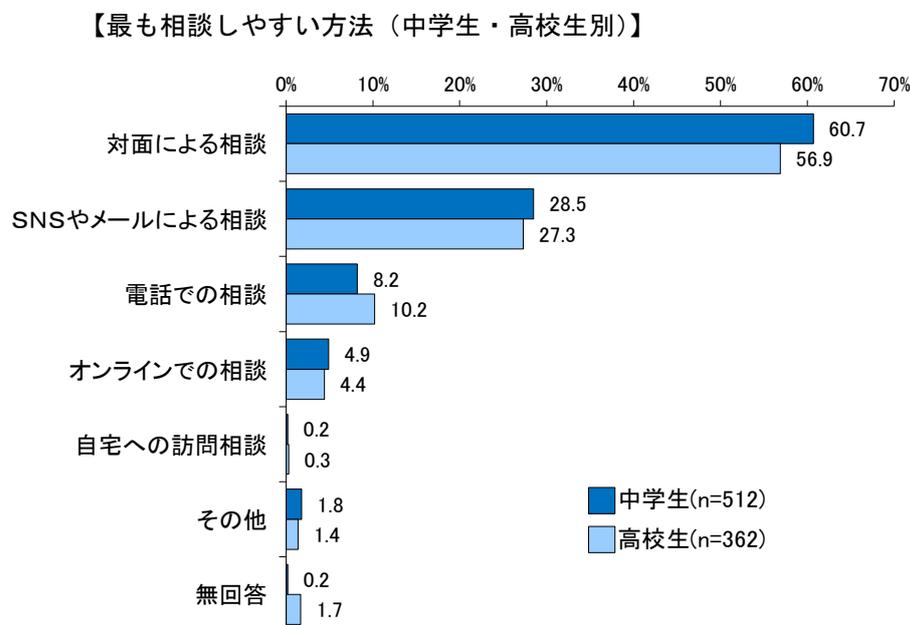
### (3) 最も相談しやすい方法

問 22 あなたが相談するとき最も相談しやすい方法は何ですか。(〇は1つ)



\* 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が100.0%を超える。

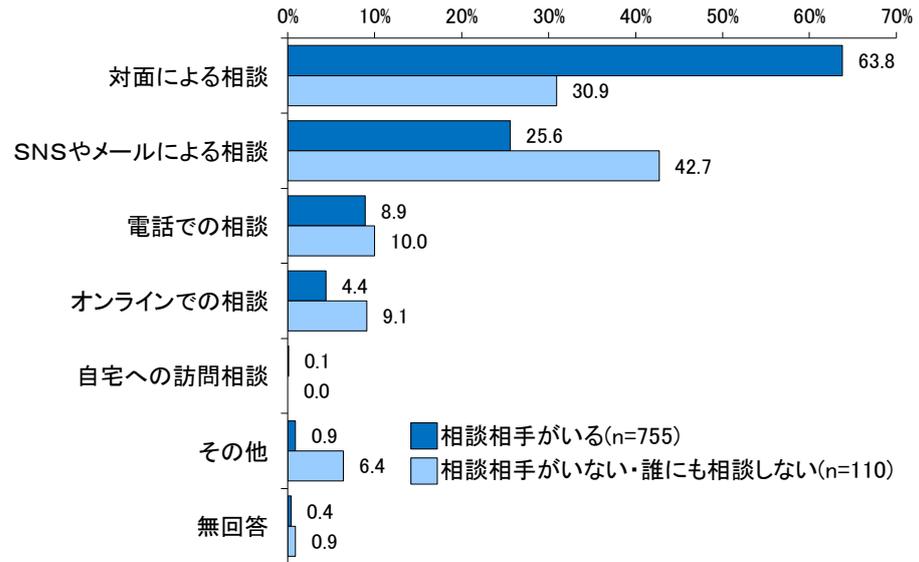
最も相談しやすい方法について、「対面による相談」と回答した割合が58.9%と最も高く、次いで「SNSやメールによる相談」(28.1%)となっている。



中学生、高校生別にみると、中学生では、「対面による相談」と回答した割合が60.7%と最も高く、次いで「SNSやメールによる相談」(28.5%)となっている。

高校生では、「対面による相談」と回答した割合が56.9%と最も高く、次いで「SNSやメールによる相談」(27.3%)となっている。

【最も相談しやすい方法（相談先の有無別）】



相談先の有無別にみると、「対面による相談」と回答した割合は、相談相手がいる層がいない層よりも 32.9 ポイント高く、「SNSやメールによる相談」と回答した割合は、相談相手がない層がいる層よりも 17.1 ポイント高くなっている。

### Ⅲ 自由意見

あなたが大人に対して望むことや、伝えたい意見があれば自由に書いてください。

大項目	小項目	件数
1 経済的負担について	①学費について	5
	②医療費について	5
	③経済対策について	11
	④子育て費用について	4
2 環境について	①交通・道路環境について	22
	②遊びやスポーツ施設について	17
	③環境美化について	14
	④学習環境について	10
	⑤家庭環境について	3
	⑥教職員の労働環境について	4
	⑦地域との関わりについて	3
	⑧居場所・交流の場について	7
3 学校について	①学校設備について	7
	②学習について	12
	③部活動について	4
	④学校への要望について	6
4 こどもと大人の関わりについて	①こどもとの対話について	22
	②こどもとの接し方について	11
	③こどもに対する大人の態度や発言について	26
5 政治について		34
6 災害対策について		4
7 岡山市について		4
8 その他		4
合計		239

## 主な意見

皆様から239件ものご意見(自由意見)をいただきました。主な意見を掲載します。

※ 文章は原文を基本とし、長文の場合などは一部省略しています。

### 1 経済的負担について

#### ①学費について

- ・大学まで進むことができる給付型の奨学金を増やしてほしい。
- ・家族を楽にさせたいので、学校にかかるお金を無償にするなど、子どものための政策を増やしてほしい。
- ・高校でも無償で行けるようにしてほしいです。できれば大学もお願いします。

#### ②医療費について

- ・岡山市も高校生まで医療費を無料にしてほしいです。
- ・令和6年1月1日から入院費が無料になったので、僕が入院の際、お母さんが助かりました。ありがとうございます。

#### ③経済対策について

- ・最低賃金の上昇。
- ・税を減らしてほしい。今後の未来のためにも税金は減らしてほしいです。
- ・増税をやめてほしい。

#### ④子育て費用について

- ・もっと子育て支援金などを増やして、少子化をなくす。
- ・もっと子どもや親に手厚くしたらいいと思う。理由は、親が少しでも楽になって笑顔が増えたら、子どもはそれだけで嬉しいからです。

### 2 環境について

#### ①交通・道路環境について

- ・歩道をきれいにしてほしい。
- ・自転車専用の道路を作ってほしい。ルールを決める前に自転車が乗りやすい環境にするべき。
- ・道路がガタガタなので、自転車専用道をもっと整備してもらいたいです。
- ・交通ルールを守ってほしい。
- ・ウインカーを出してほしい。
- ・運転免許証取得年齢の制限があるのだから、高齢者ドライバーによる事故を減らすために免許返納年齢も定めてほしい。
- ・街灯がもっとあったらいい。
- ・川にもっと柵があったらいい。

#### ②遊びやスポーツ施設について

- ・岡山市内でスポーツができる環境を整えてほしい。スポーツ施設を充実させてほしい。

- ・スーパー以外に、子どもたちが遊べる場所を作ってほしい。そうすれば子どもも増えると思う。
- ・大きな広場で遊べる場所を増やしてほしい。
- ・友達と雨でも遊べる、気軽に集まれる体育館のような所（予約なしで行ける所）もあると嬉しい。スポーツできたり、勉強できたり、少し休憩できるような自習室を作ってほしい。

### ③環境美化について

- ・できるだけ木を切らないことや、ポイ捨てをしないなど、自然を守る。
- ・ゴミ拾いなど、もっとSDGsに関する取り組みがしたいです。
- ・公園やコンビニ以外にも、ゴミ箱を置いてくれると助かります。

### ④学習環境について

- ・自由に行き来できる勉強スペースがほしいです。
- ・図書館の学習スペース、自習スペースをもっと作ってほしいです。
- ・全公民館に毎日使える自習室を作ってほしい。家ではない所で静かに勉強したい。

### ⑤家庭環境について

- ・目には全く見えないが、悩みを抱えている中高生はたくさんいると思う。家族にさえ言えないことは誰しもあるが、それを無理に言葉に出さなくても、少しでも気持ちが和らぐような空間や家庭環境を作るべきだと感じている。少しの夫婦喧嘩などでも子どもにとってはストレスになる。
- ・お父さんが毎日、お母さんの手伝いもせず、ゲームばかりしているのを見るのが辛い。お父さんの意識を変えるような番組やインタビューをテレビでもっとやってほしい。

### ⑥教職員の労働環境について

- ・教員が自分に合うと思ったが、教員の過酷さを考えるとあまりやりたくないなと思った。部活を外部コーチに移行することや残業代、部活代、出勤時間をもう少し改革してほしいと思う。そうすれば、教員になる人が増え、1人あたりの教員が行う仕事が減り、負担が軽くなるのではないかと考える。特に小学校、中学校に関しては、親や生徒の対応など、追加される仕事によって、本業の授業の準備ができなくなる時があるのではないかと。授業を受ける身として、学校に来て授業を受けることでしか得られない学習をきちんとしたいと強く思う。
- ・私は将来、小学校教員になりたいと思っていますが、保育士や小学校教育含め、教育に携わる職業の給料が、仕事量に対して少ないということが気になっています。そのせいで私は現在父親から、小学校教員という夢について反対されています。給料が少ない→教育関係に就きたいと考える人が減る→保育士の場合は保育園の受け入れ数が減る→子育てが困難になるため少子化が進むという悪循環に陥るのではないかと感じてしまいます。物価が上がっているのに給料は増えず、奨学金の返済に悩む学生が増えているというニュースをよく見かけます。経済支援や給料のことなど、ぜひご検討していただきたいです。

### ⑦地域との関わりについて

- ・小学生に対する地域の人のあいさつ運動はこれからも継続してほしい。
- ・小中学校の登校中、毎朝、私たちを見守ってくれていた見守り隊の方々に「ありがとうございました」と伝えたいです。

## ⑧居場所・交流の場について

- ・勉強したり、友達と話したり、いろいろな人と出会えるような場所がほしい。
- ・各学区に、お金がなくてもお友達と集まれるような屋内のスペースを作ってほしい。学校は放課後はすぐに帰れと追い出されてしまうので、ゆっくり話す時間もない。
- ・岡山市は図書館で勉強できないので、家や学校以外で勉強しようと思うと飲食店くらいしか居場所がありません。若い世代に限らず、多くの人が自由に利用できる施設があれば、家や学校以外の居場所ができ、何か困ったことがあっても居場所はあるという安心感を得られるような気がしています。

## 3 学校について

### ①学校設備について

- ・幼稚園や小学生の時に考えていたことで、今はどのような現状かはわかりませんが、女子の和式トイレが非常に多いと感じます。また幼稚園でも、わざわざ和式トイレにする必要もありません。幼稚園と小学校はできるだけ洋式トイレにしていきたいと思います。  
また、学校のトイレに関して言えば、もっときれいで掃除が楽なトイレにしてほしいです。そして、音姫など音を隠す機械を付けてほしいです。
- ・公立学校の体育館にエアコンを付けてほしい。
- ・古い校舎を建て替えてほしい。

### ②学習について

- ・飛び級制度を作ってもらいたい。最近、選挙権の年齢が18歳に引き下げられたが、選挙の投票率が減っている理由は、授業で選挙に関するものをあまり見ないことだと思う。授業でも選挙に意識が向くようにすると投票率が上がるのではないのかと思う。
- ・子どもでも医療を学べる環境がほしい。学習を進めるために放課後の学習教室がほしい。
- ・学校のレベルが高く、行きやすい学校が少ない。
- ・仕事の種類と魅力をもっと伝えてほしい。コロナ禍で職場体験が無かったので自分の代は夢がない人が多い。
- ・学校で習うことと現実社会の価値観や構造、常識、また、公共で習う法律や国の方針や理想が、現実社会でどんな役に立ったり、何につながっているのかわかりにくい。

### ③部活動について

- ・女子サッカー部のある中学・高等学校を増やしてほしい。
- ・野球＝坊主という考えをなくしてほしい。
- ・部活はその競技の経験がある人に外部指導をしてほしい。
- ・部活動の時間をもう少し短くする。

### ④学校への要望について

- ・学校が学校のことしか考えていない。もっと私たちのことを考えてください。
- ・修学旅行などの行事等生徒の意見も聞いてほしいです。先生たちだけでいろいろと決めないでほしいと思います。
- ・学力テストなどで答える性別の選択肢を増やしてほしいです。

## 4 こどもと大人の関わりについて

### ①こどもとの対話について

- ・もっと子どもの意見に耳を傾けてほしい。大人も子どもの立場に立って、子どものしたいことの理解をしてほしい。
- ・もっといろいろなことに、子どもが意見を言える社会になったら良いなと思います。興味のある子だけではなく、興味のない子でもわかるように説明をして、誰でも意見が言える社会になってほしいです。
- ・子どもたちがもっと意見を言いやすい学校や家庭づくりをしてほしいと思います。
- ・子どもの意見や考えが、大人に押しさえつけられていることがあるから、もう少し子どもの話も聞いてほしい。
- ・髪色だけで人を判断しないでほしい。昔の価値観と今の価値観が一致していないときがある
- ・若い人に将来性を持って、希望を持ってほしい。応援してほしい。仲良くしたい。褒めて伸ばしてほしい。
- ・価値観などを初っ端から否定から入らずに、ちゃんと意見を聞いてほしい。物事に否定から入らずに、まず話を聞いてほしい。

### ②こどもとの接し方について

- ・進路や部活、生活、習い事、友達付き合いなどにおいて、自由にさせてほしい。個人の意見を尊重してほしい。
- ・勉強について干渉しないでほしい。
- ・もう少し自由がほしい。
- ・子どもは親の人形じゃないから、子どもを尊重してほしい。
- ・相手に対して思いやりを持って接してほしい。

### ③こどもに対する大人の態度や発言について

- ・子どもから見て目標や憧れ、手本となるような姿を積極的に示してほしいです。
- ・今の時代、私たち未成年者でもSNSを使い、自分の意見を世界に向けて発信できます。きっと間違ったことを発信してしまったり、騙されてしまう子も一定数いると思います。そんな時に間違いに気づかせてくれたり相談にのってくれる大人であってほしいです。
- ・大人は挨拶をしてくれる人が少ない。しっかり相手の目を見て子どものように元気よく挨拶すると世界は少しでも平和になると思います。
- ・怒るのはいいが、その怒ったことに関するルールなどを大人が破らないでほしい。
- ・いつまでも子どものようでないでほしい。理不尽なことや自己中心的な大人がいると私たち、子どもも困る。大人を信じられなくなる。
- ・自分の固定概念を若者に押し付けないでほしい。
- ・昔の偏った考え方ではなく、時代に合った考え方をしてほしい。
- ・理想を押し付けず、静かに見守ってほしい。大人としてちゃんと見習いたくなるような見本を示してほしい。

## 5 政治について

- ・今の政治は、大人の意見が多く取り入れられていると思うので、もっと若者の意見も取り入れた、みんなが暮らしやすい社会を作ってほしいです。
- ・世の中に関心をもって、積極的に選挙などに参加してほしい。今現在のことも大切だが、将来のことも考えて税金を使ってほしい。
- ・私が将来子ども産んだときも、安心して生きられる社会を作ってほしい。
- ・高齢者ばかり優先して、公園でボール遊びができないなど、もっと子どもにやさしい政策をしてほしい。
- ・少子高齢化についてもっと積極的に取り組んでほしいです。
- ・新アリーナを建設する前に、公園の設備（特にトイレ）や学校などの教育現場に使う、「人への投資」を進めてほしい。

## 6 災害対策について

- ・災害地への支援金を増やす。
- ・今後も災害は起こり得るため、南海トラフ巨大地震などの被害予測をもう少し厳しく、そして詳しく示し、人々の危機感を高めることが大切だと思います。また、物資も不足していると聞き、災害時のための物資や、それらを届けるための職員を整える必要があると思います。避難生活が長期化し、私たちが準備した防災グッズが足りなくなった時は、市などが備蓄した物資が重要になると思います。
- ・大雨や強風の日に警報を出す際は、早めの判断をお願いしたいです。登校後に発令されたとしても公共交通機関を利用していた場合、家に帰る手段がなくなってしまう。

## 7 岡山市について

- ・今の岡山が好きなので、守り続けてほしいです。
- ・岡山の都会すぎず、田舎すぎずない所は私が好きな所でもあります。また、岡山は果物が美味しいです。テレビで紹介されていたり、YouTuberの人が食べていたりすると、うれしい気持ちになります。
- ・将来、私は岡山市に住んでいるか、今の時点ではわかりませんが、地元の岡山市で、例えば少子高齢化が改善できるような取り組みが行われたり、図書館などの公共施設が建てられたりしたら、うれしいです。
- ・子どもに対する政策が充実していると思います。将来住みたい町になるように、自然を生かした町づくりをするべきだと思います。

## 8 その他、大人に対して望むことや伝えたい意見

- ・老人や妊婦さんがいたら、率先して道を譲る。
- ・同性婚を認めてほしい。
- ・障害に関係なく、普通に接してほしい。
- ・放っておいてほしいけど見捨てないでほしい。